

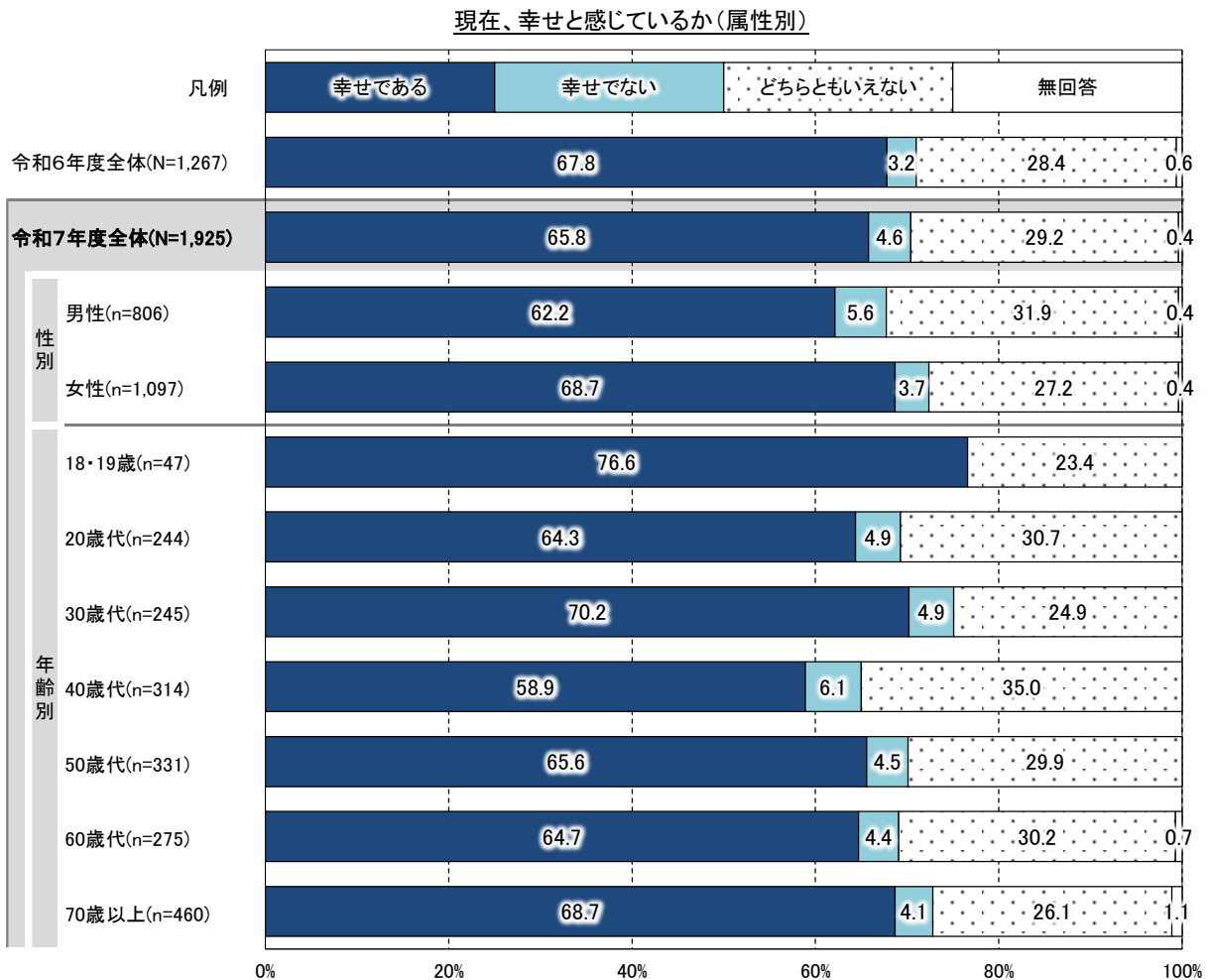
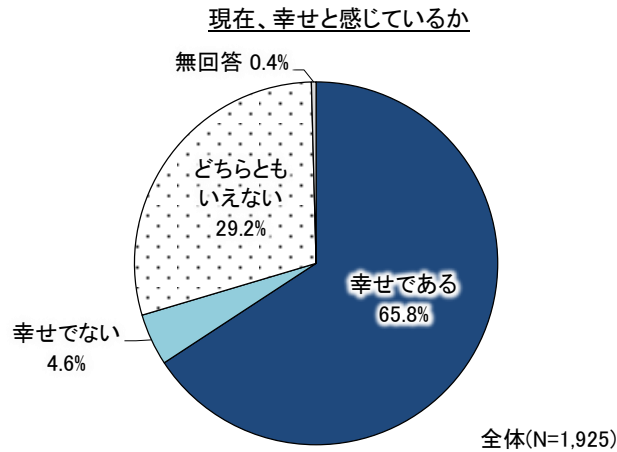
4. 大分市総合計画に関する質問について

(1) 目指すまちの姿（都市像：誰もが“幸せ”を実感できるまち OITA）について

① 現在、幸せと感じているか

問 5(1)ア 現在、あなたは“幸せ”ですか。

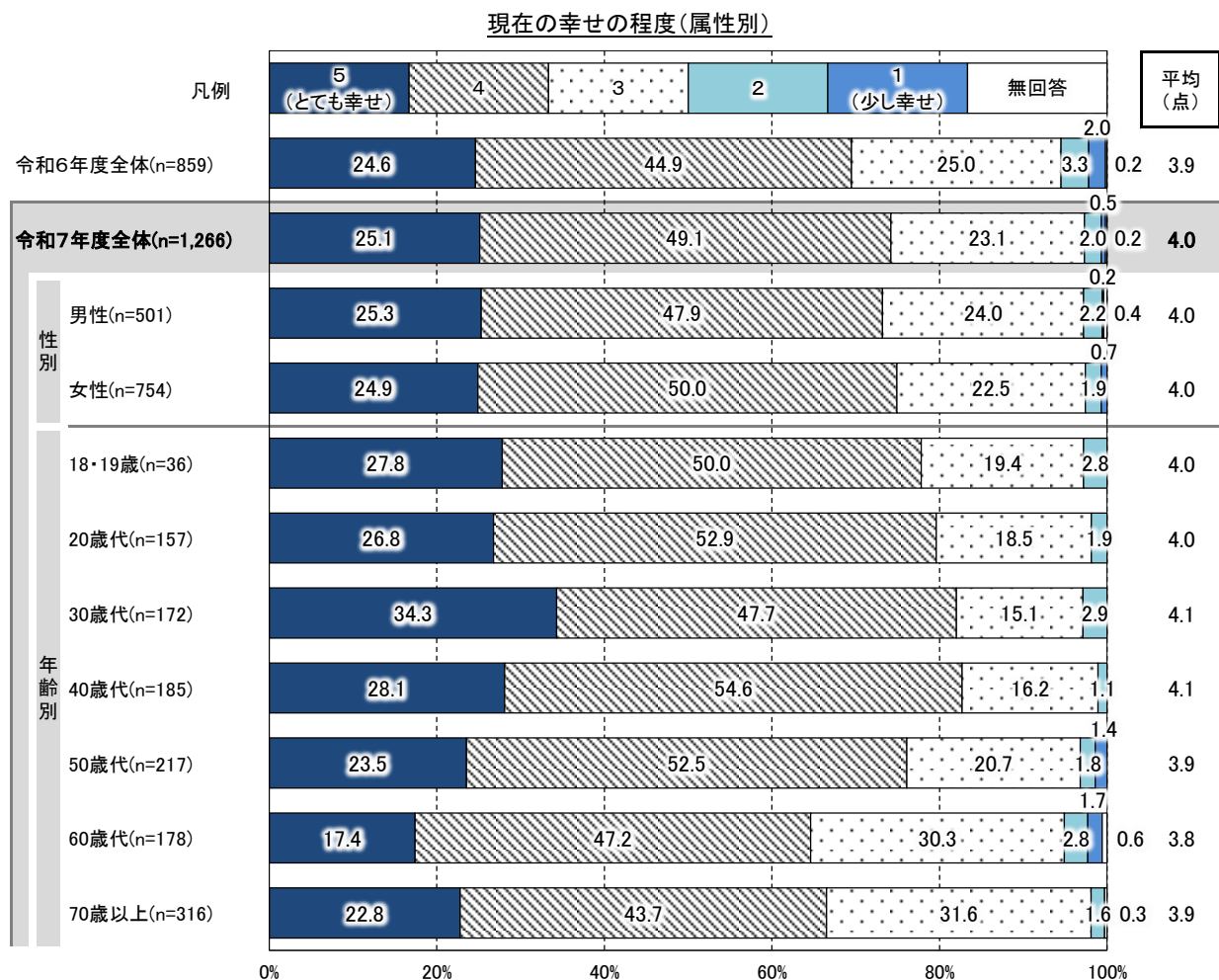
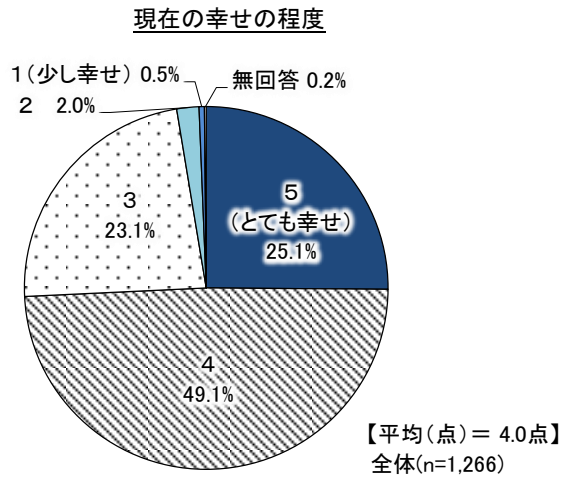
昨年度調査結果と比較すると、「幸せである」の割合は 2.0%減少、「幸せでない」の割合は 1.4%上昇する結果となりました。性別・年齢別でみると、ほとんどで「幸せである」は 60.0%を超えています。



② 現在の幸せの程度

問 5(1)アで「1. 幸せである」と答えた方にお尋ねします。
 問 5(1)イ 現在の“幸せ”の程度は何点くらいだと思いますか。点数に○印をつけてください。

昨年度調査結果と比較すると、全体の平均点は 0.1 点上昇する結果となりました。年齢別で見た場合、全ての年代で平均点が 3.8 点を超過しており、中でも 30・40 歳代の平均点が最も高く、次に 18・19 歳、20 歳代の平均点が高くなっています。



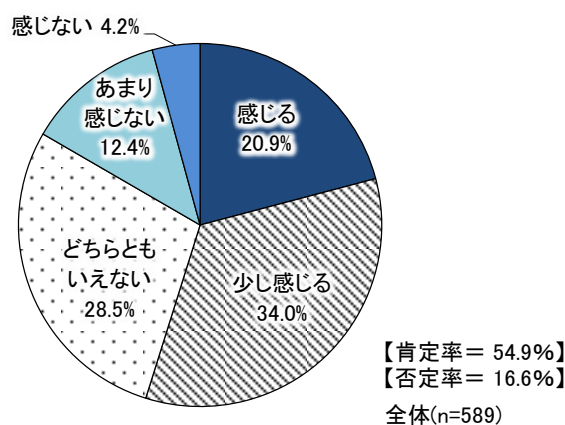
(2) こども・子育て支援について

① 安心して子育てができていると感じているか

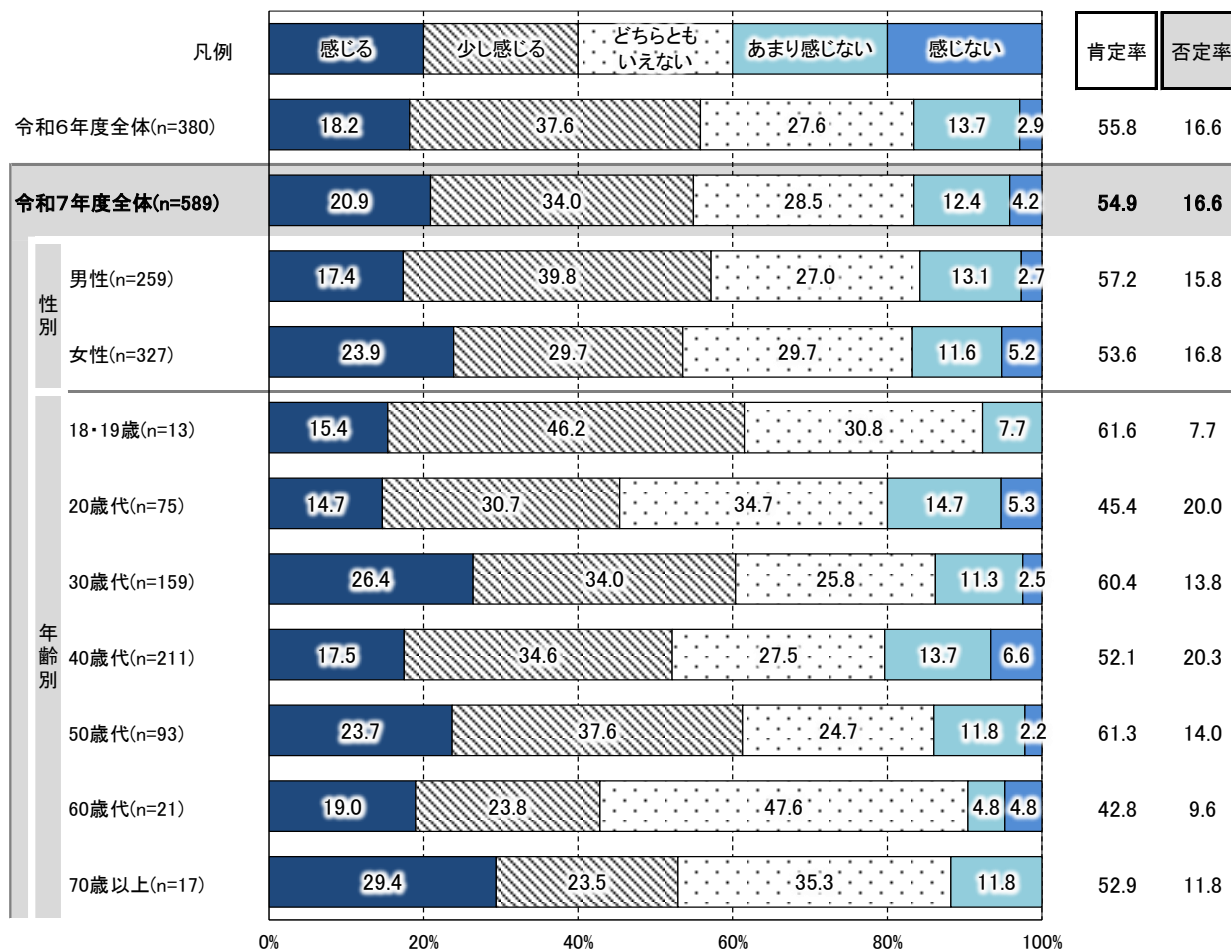
現在、子育てをされている方（18歳までのこどもを養育している方）にお尋ねします。
問5(2)ア 安心して子育てができていると感じますか。

昨年度調査結果と比較すると、全体の肯定率は0.9%減少、否定率は変わらない結果となりました。男女ともに肯定率は50.0%を超え、年齢別でみると、すべての年代で肯定率は40.0%を超えており、その中でも18・19歳の肯定率が最も高く、61.6%となっています。

安心して子育てができていると感じているか



安心して子育てができていると感じているか(属性別)

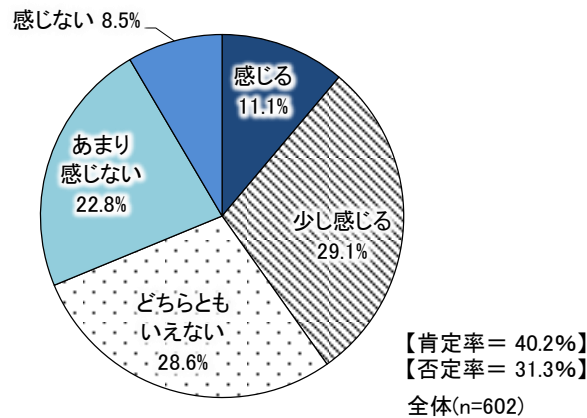


② 地域で子育てが支えられていると感じているか

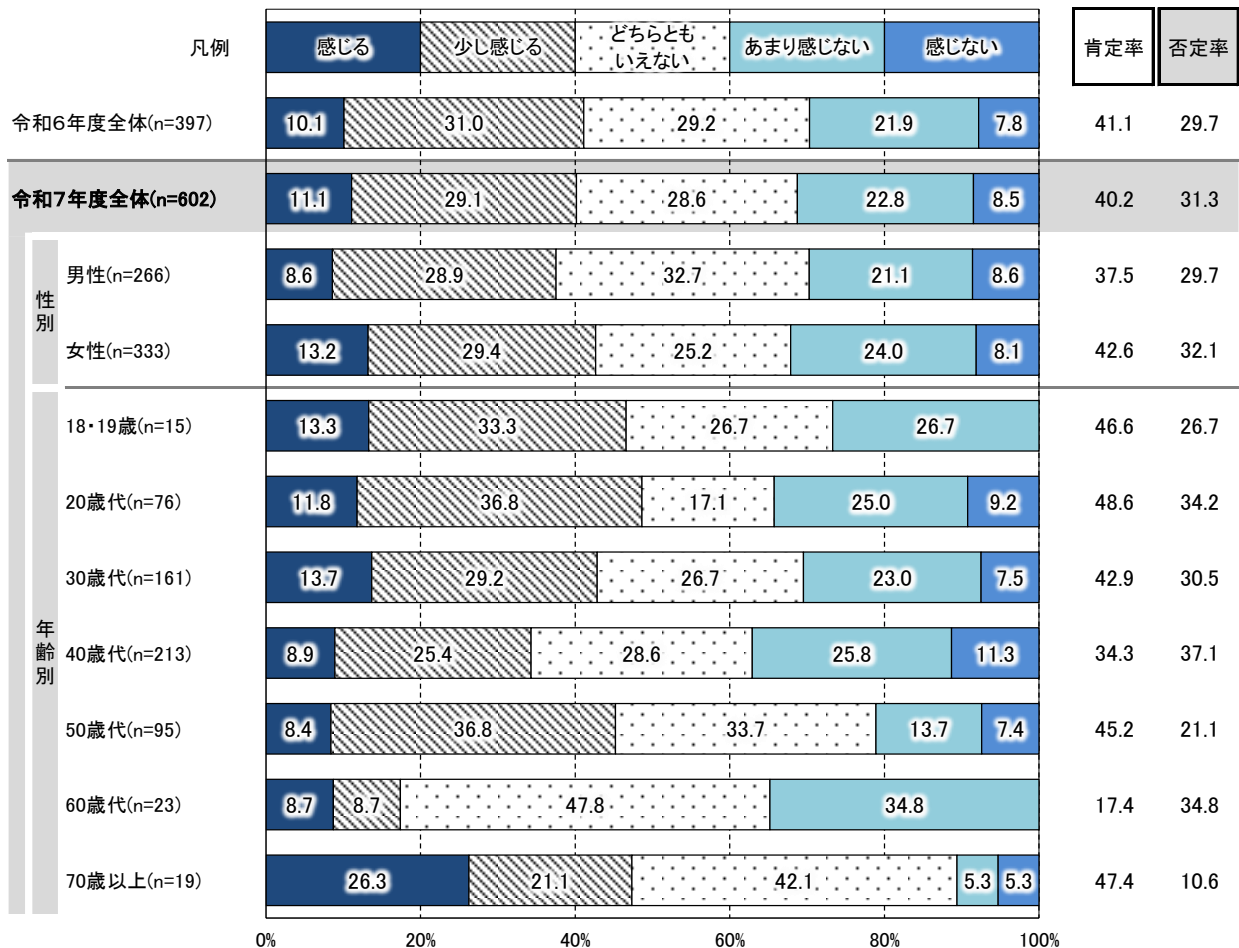
現在、子育てをされている方（18歳までの子どもを養育している方）にお尋ねします。
問5(2)イ 地域で子育てが支えられていると感じますか。

昨年度調査結果と比較すると、全体の肯定率は0.9%減少、否定率は1.6%上昇する結果となりました。性別で見ると、女性の肯定率は男性より5.1%高く、年齢別でみると、肯定率は20歳代が最も高く、48.6%となっています。

地域で子育てが支えられていると感じているか



地域で子育てが支えられていると感じているか(属性別)



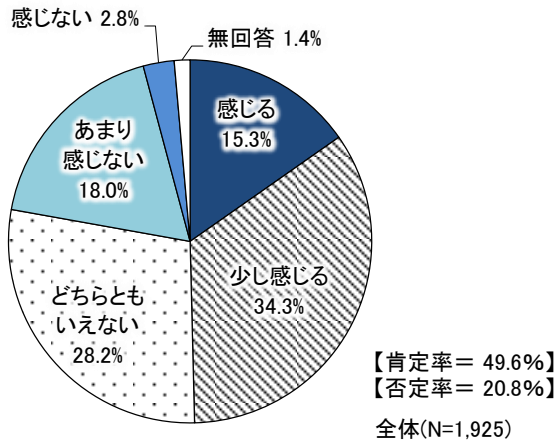
(3) 社会教育と生涯学習について

① 社会教育施設において、学びの機会が提供されていると感じているか

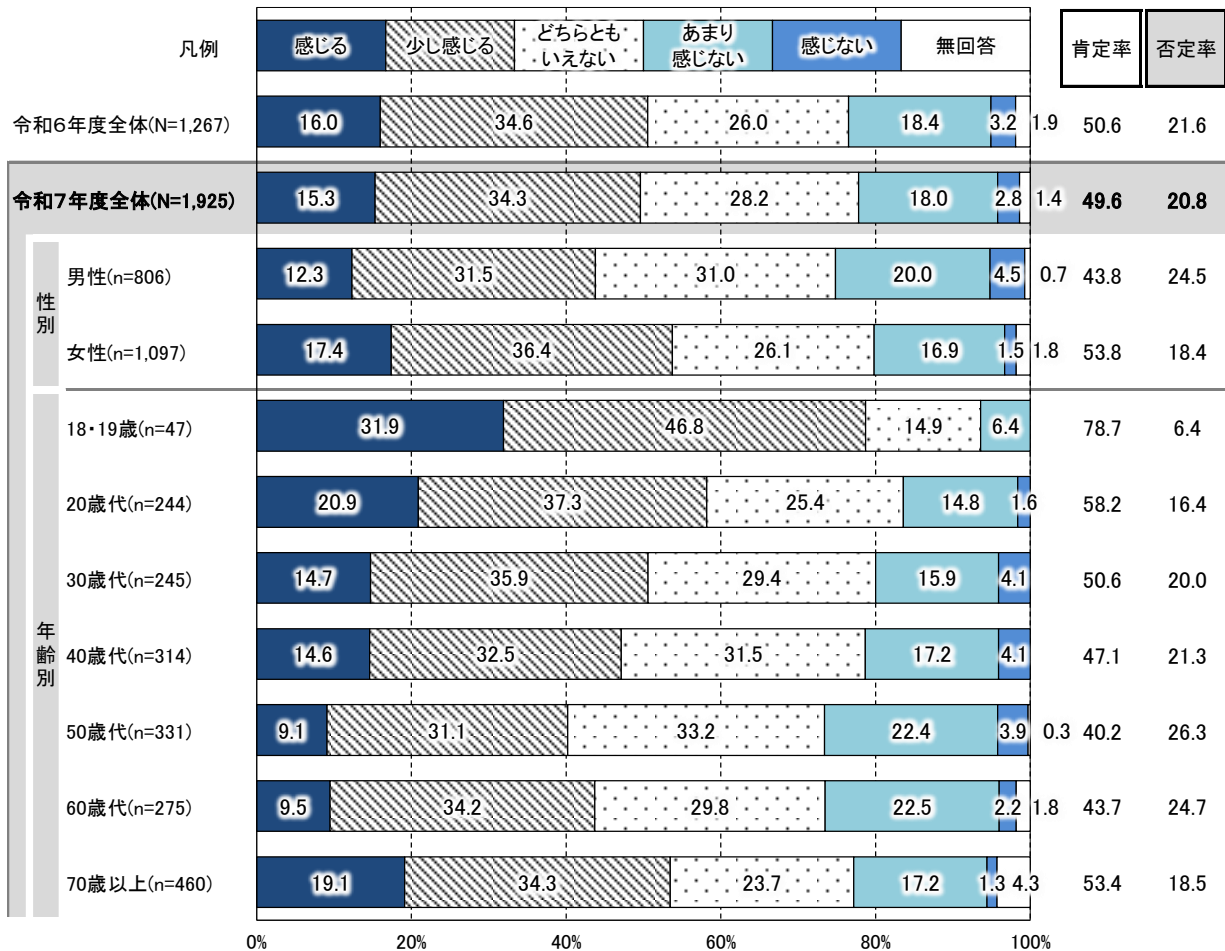
問 5(3) ア 社会教育施設において、学びの機会が提供されていると感じますか。

昨年度調査結果と比較すると、全体の肯定率は1.0%減少、否定率も0.8%減少する結果となりました。性別で見ると、女性の肯定率は男性より10.0%高く、年齢別で見ると、すべての年代で肯定率は40.0%を超えています。

社会教育施設において、学びの機会が提供されていると感じているか



社会教育施設において、学びの機会が提供されていると感じているか(属性別)

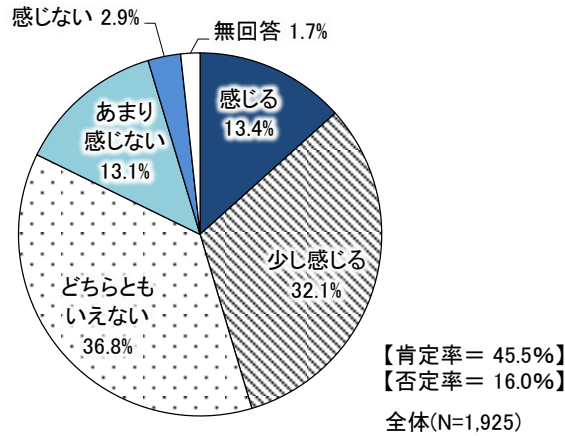


② 地域社会の中で子どもたちが健全に育成されていると感じているか

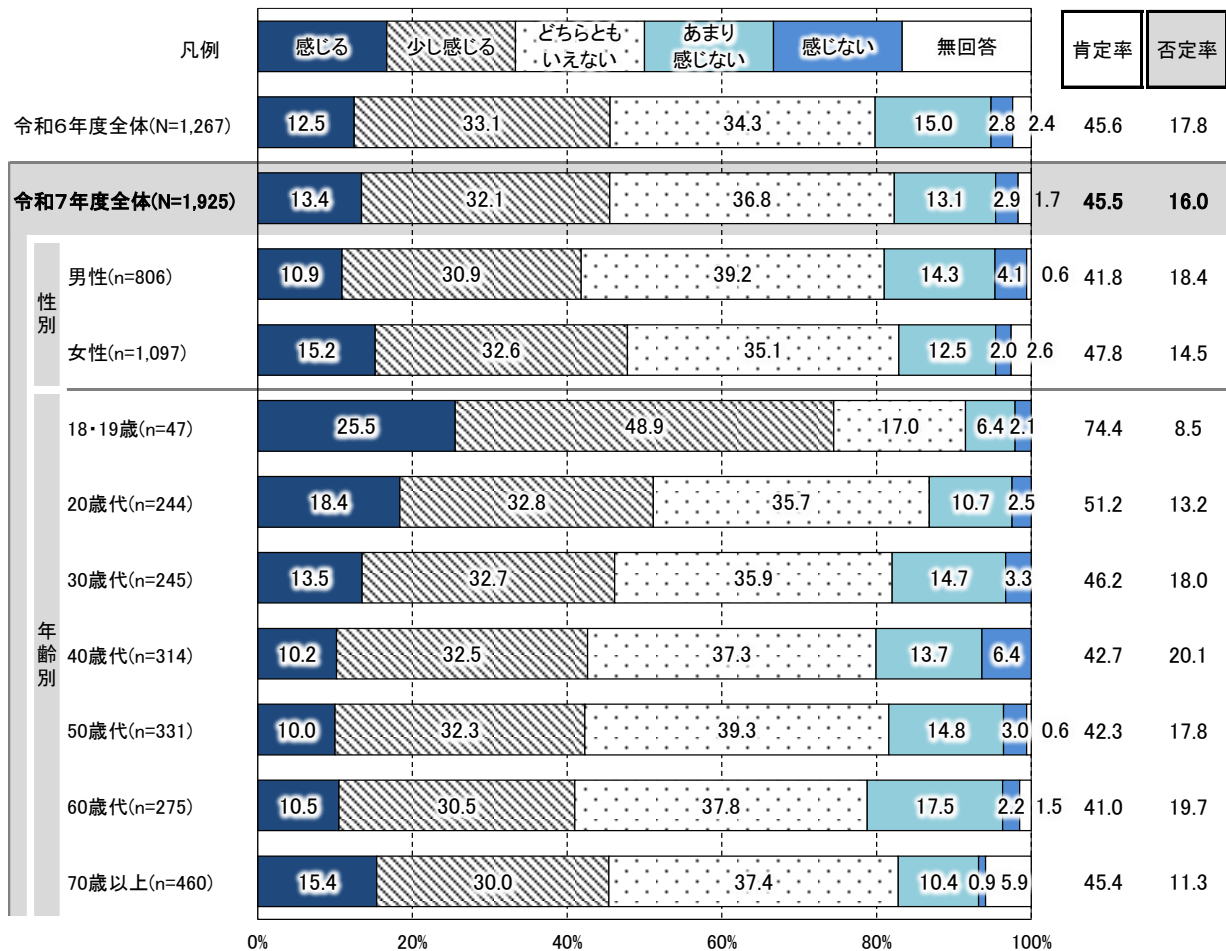
問 5(3)イ 地域社会の中で子どもたちが健全に育成されていると感じますか。

昨年度調査結果と比較すると、全体の肯定率は0.1%減少、否定率も1.8%減少する結果となりました。年齢別でみると、すべての年代で肯定率は40.0%を超えており、その中でも18・19歳の肯定率が最も高く、74.4%となっています。

地域社会の中で子どもたちが健全に育成されていると感じているか



地域社会の中で子どもたちが健全に育成されていると感じているか(属性別)

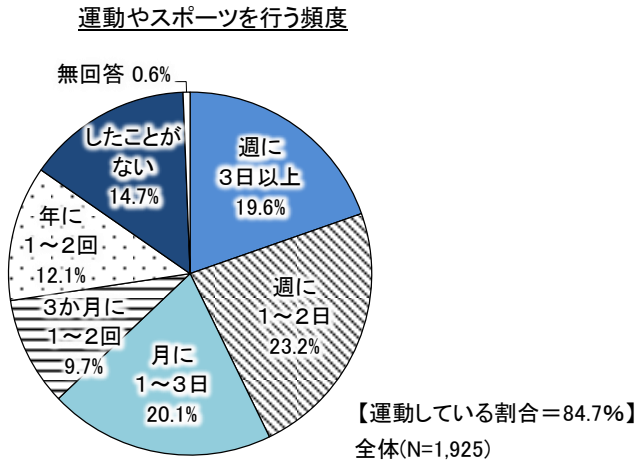


(4) スポーツについて

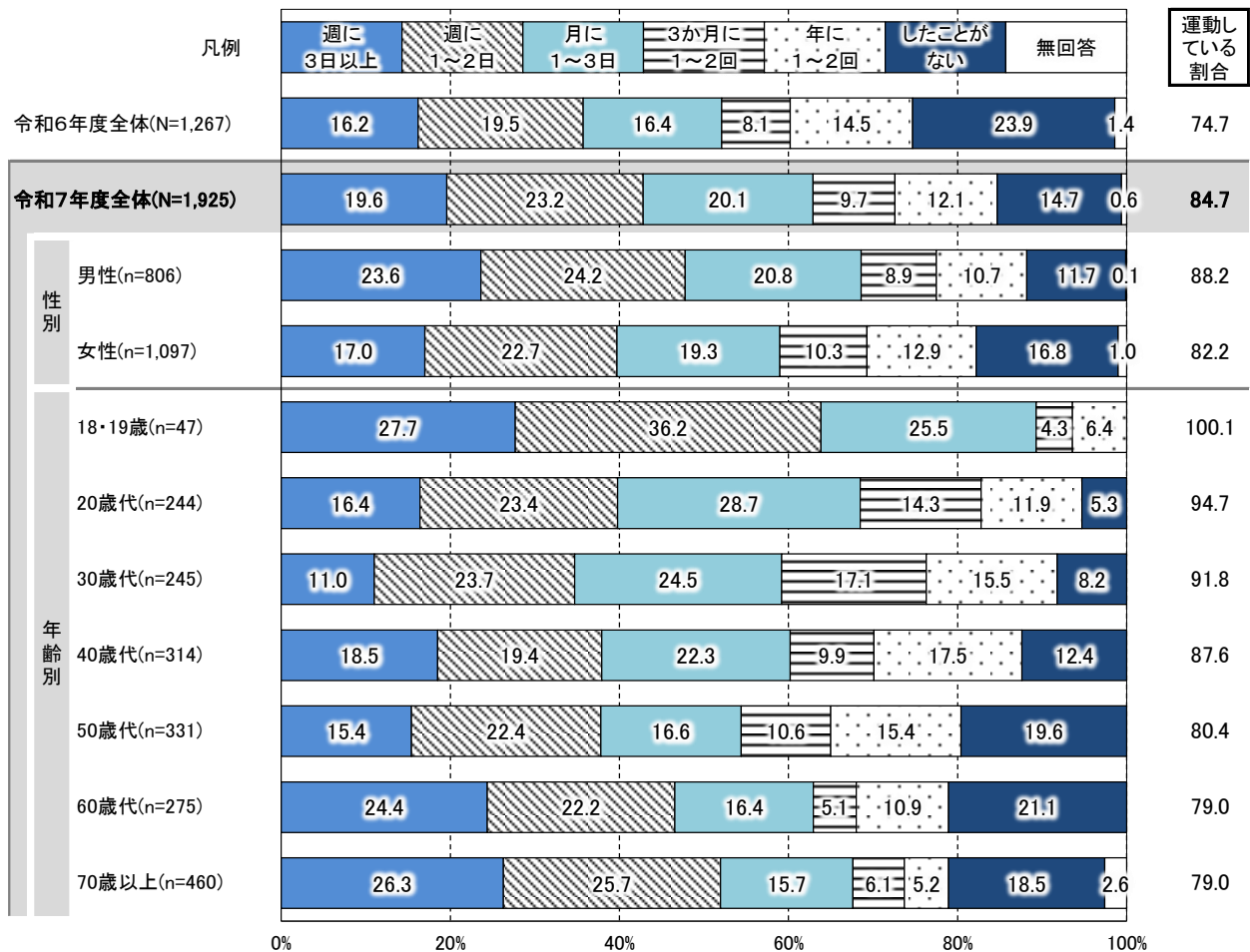
① 運動やスポーツを行う頻度

問 5(4) ア 運動やスポーツを、この1年間にどれぐらいのペースで行いましたか。

昨年度調査結果と比較すると、週に1日以上（定期的に）運動をしている人の割合は、7.1% 上昇する結果となりました。年齢別でみると、20歳代～50歳代で、定期的に運動している人の割合が低くなっています。



運動やスポーツを行う頻度(属性別)

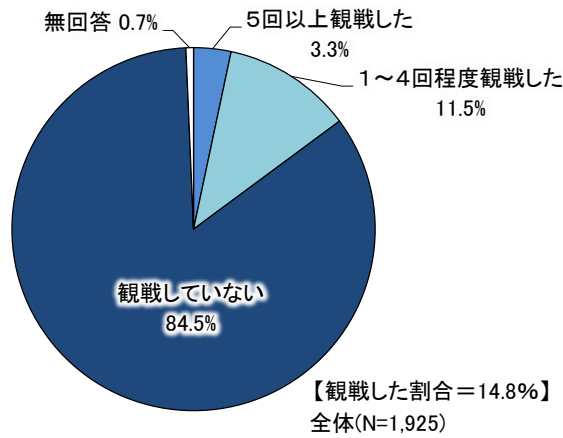


② 大分市内でのプロスポーツチームの観戦の頻度

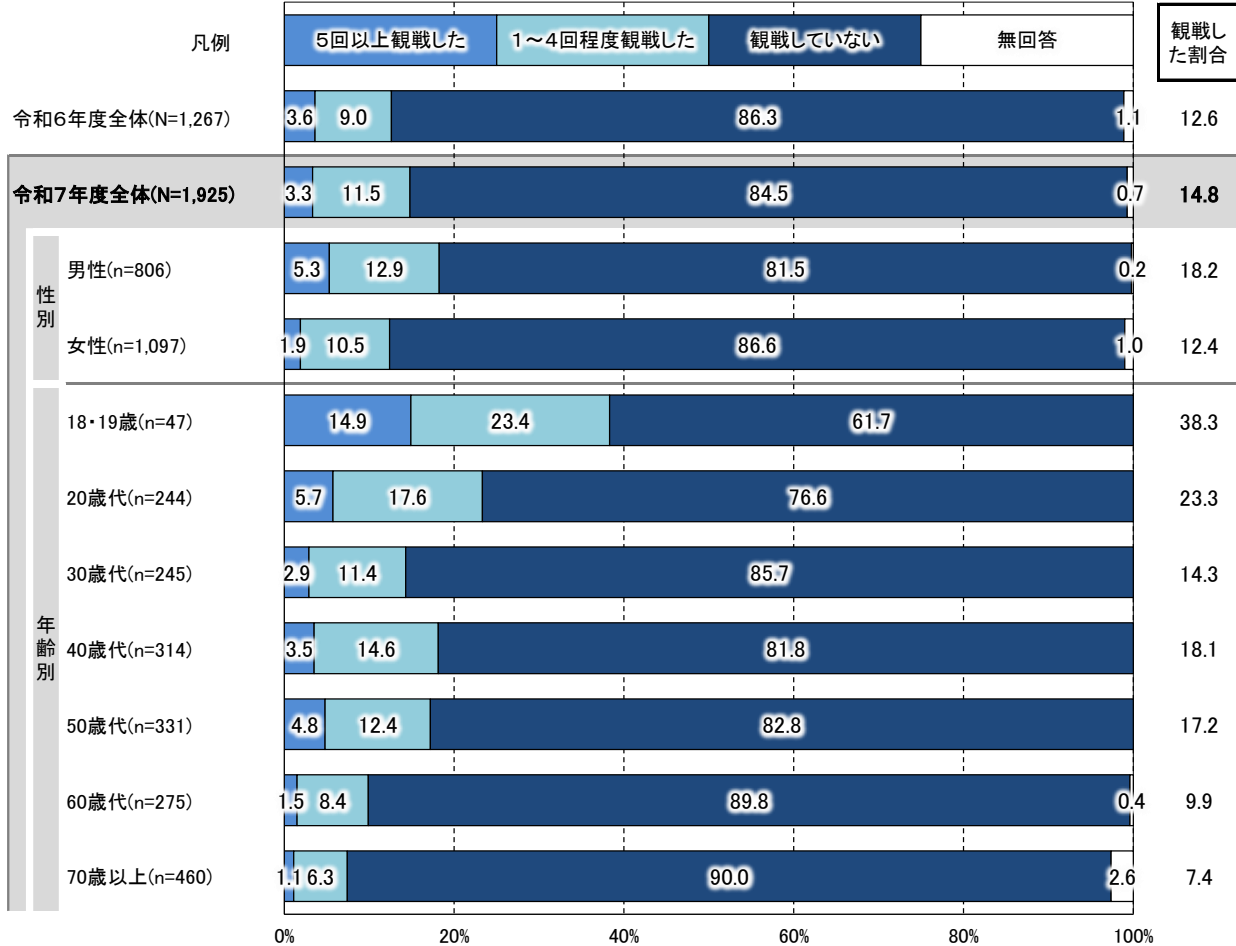
問 5(4) イ この1年間に、本市を拠点に活動しているプロスポーツチームの試合を市内の会場で観戦しましたか。

昨年度調査結果と比較すると、大分市内のプロスポーツチームの試合を観戦した割合は、2.2%上昇する結果となりました。年齢別でみると、概ね年代が高いほど観戦した割合は低くなっている傾向にあります。

大分市内でのプロスポーツチームの観戦の頻度



大分市内でのプロスポーツチームの観戦の頻度(属性別)



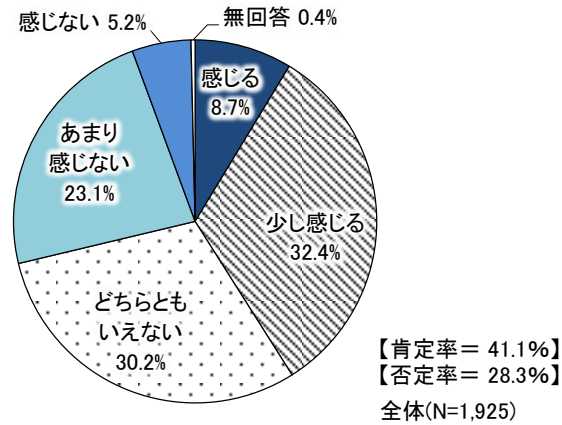
(5) 文化・芸術について

① 大分市は文化・芸術が盛んなまちだと感じているか

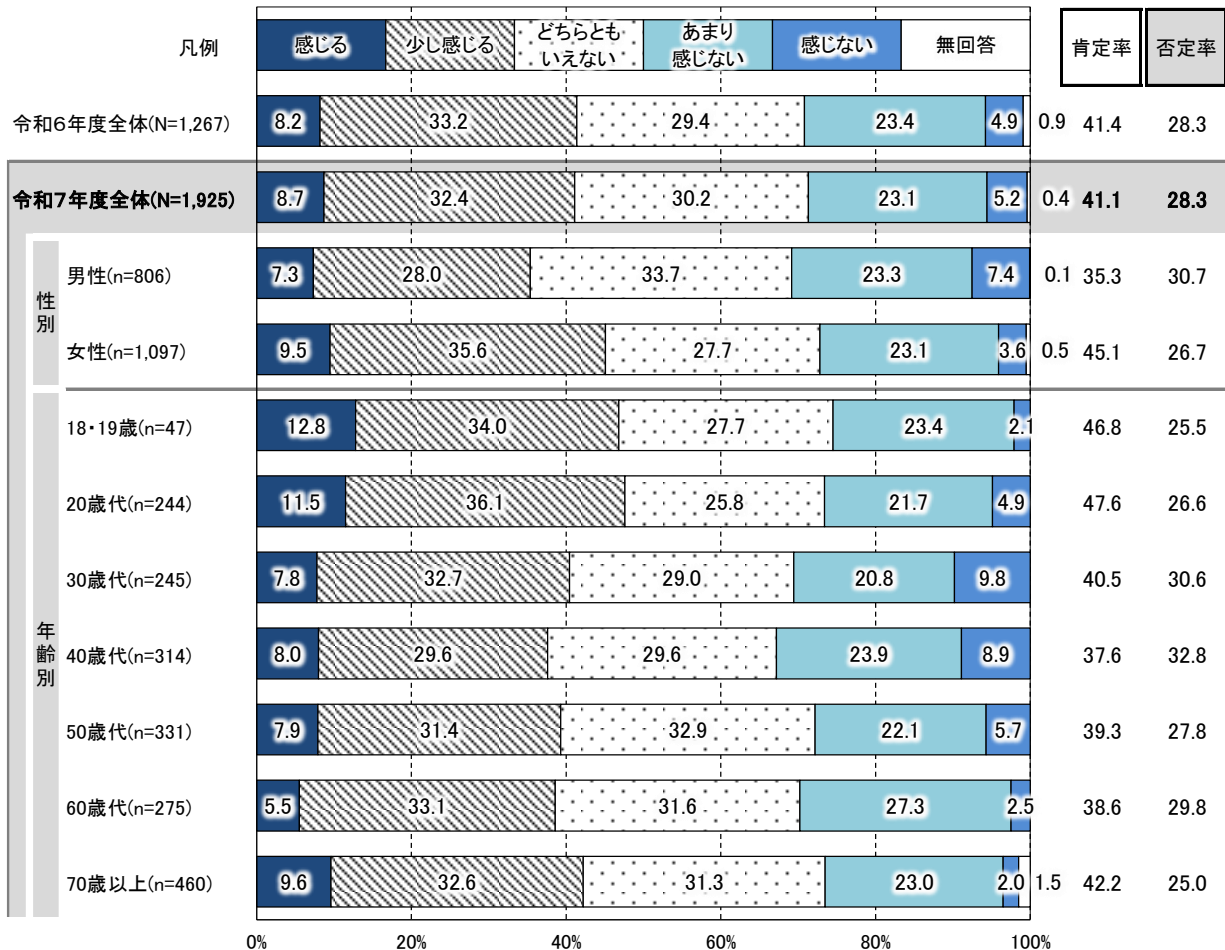
問 5(5) ア 文化・芸術が盛んなまちであると感じますか。

昨年度調査結果と比較すると、全体の肯定率は 0.3%減少、否定率は変わらない結果となりました。年齢別でみると、すべての年代で肯定率は 30.0%を超えており、その中でも 20 歳代の肯定率が最も高く、47.6%となっています。

大分市は文化・芸術が盛んなまちだと感じているか



大分市は文化・芸術が盛んなまちだと感じているか(属性別)

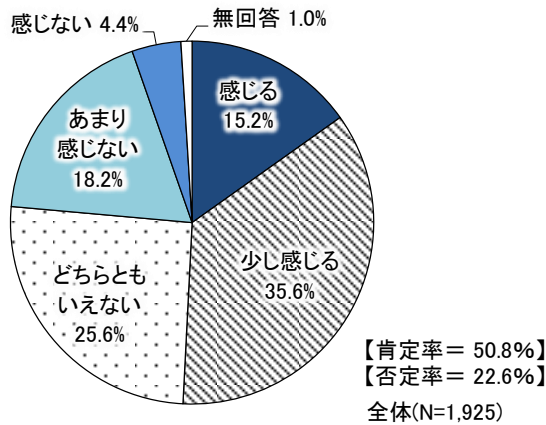


② 文化施設は機能や施設数などが充実していると感じているか

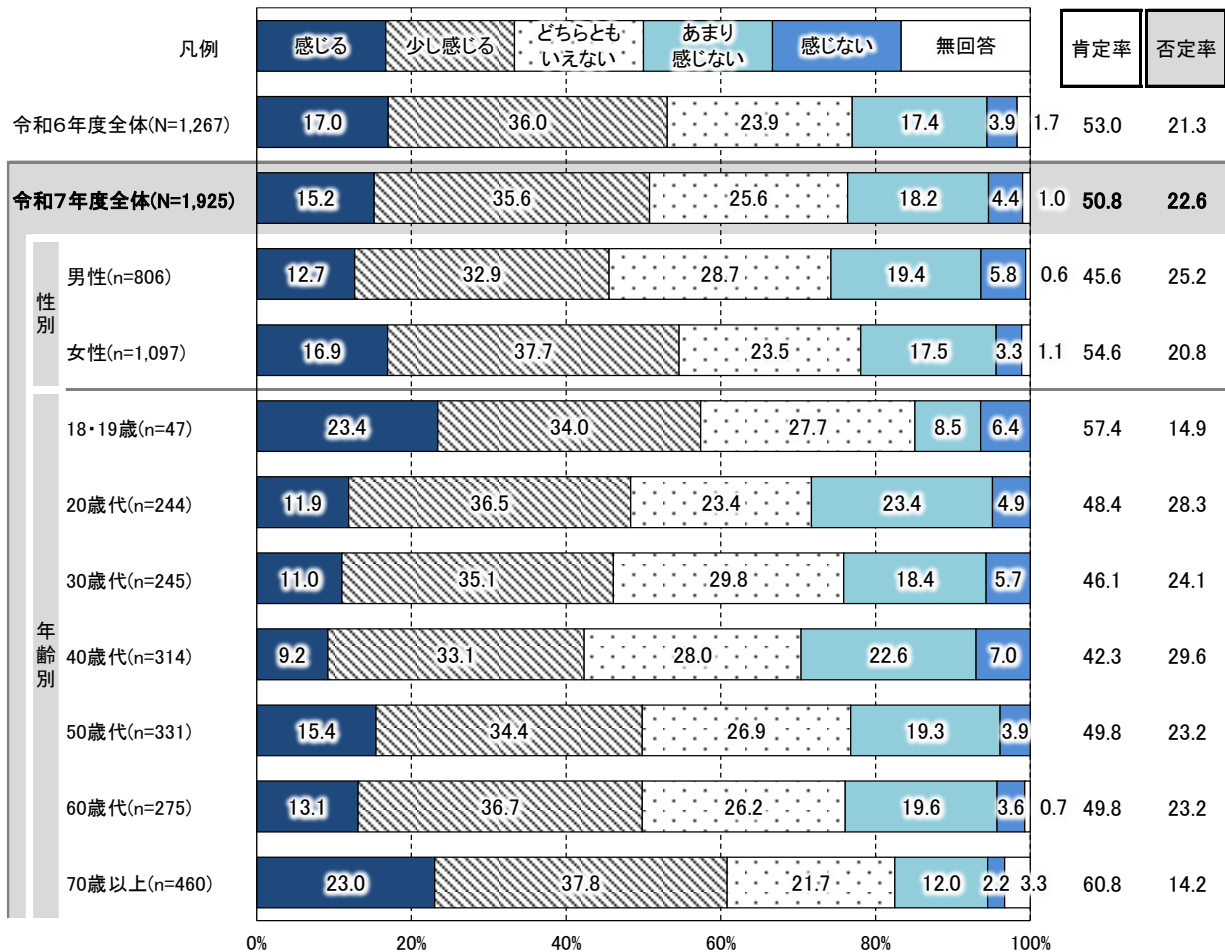
問 5(5)イ 文化施設（公設、民間問わず）の機能や施設数などが充実していると感じますか。

昨年度調査結果と比較すると、全体の肯定率は 2.2%減少、否定率は 1.3%上昇する結果となりました。年齢別でみると、すべての年代で肯定率は 40.0%を超えており、その中でも 70 歳以上の肯定率が最も高く、60.8%となっています。

文化施設は機能や施設数などが充実していると感じているか



文化施設は機能や施設数などが充実していると感じているか(属性別)

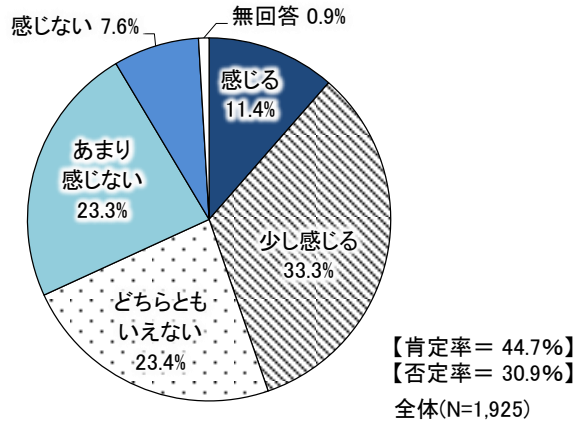


③ 地域の歴史や文化遺産に親しむ機会があると感じているか

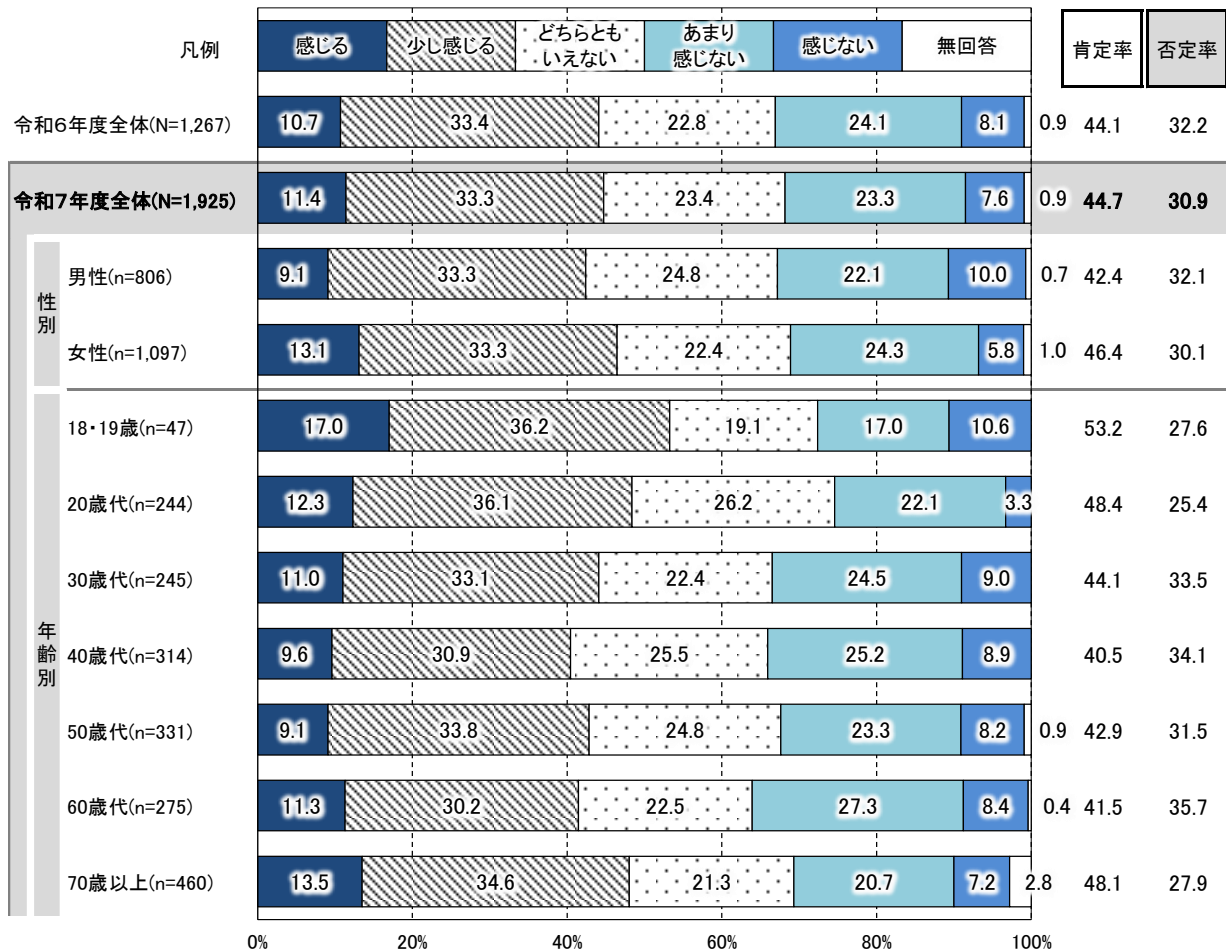
問 5(5) ウ 地域の歴史や文化資源に親しむ機会があると感じますか。

昨年度調査結果と比較すると、肯定率は0.6%上昇、否定率は1.3%減少する結果となりました。年齢別で見ると、すべての年代で肯定率は40.0%を超えており、その中でも18・19歳の肯定率が最も高く、53.2%となっています。

地域の歴史や文化遺産に親しむ機会があると感じているか



地域の歴史や文化遺産に親しむ機会があると感じているか(属性別)



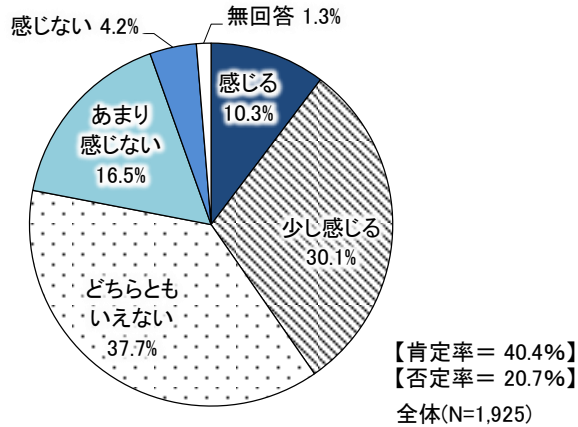
(6) 国際化について

① 国籍や民族、文化の違いを認め合い、誰もが暮らしやすいまちであると感じているか

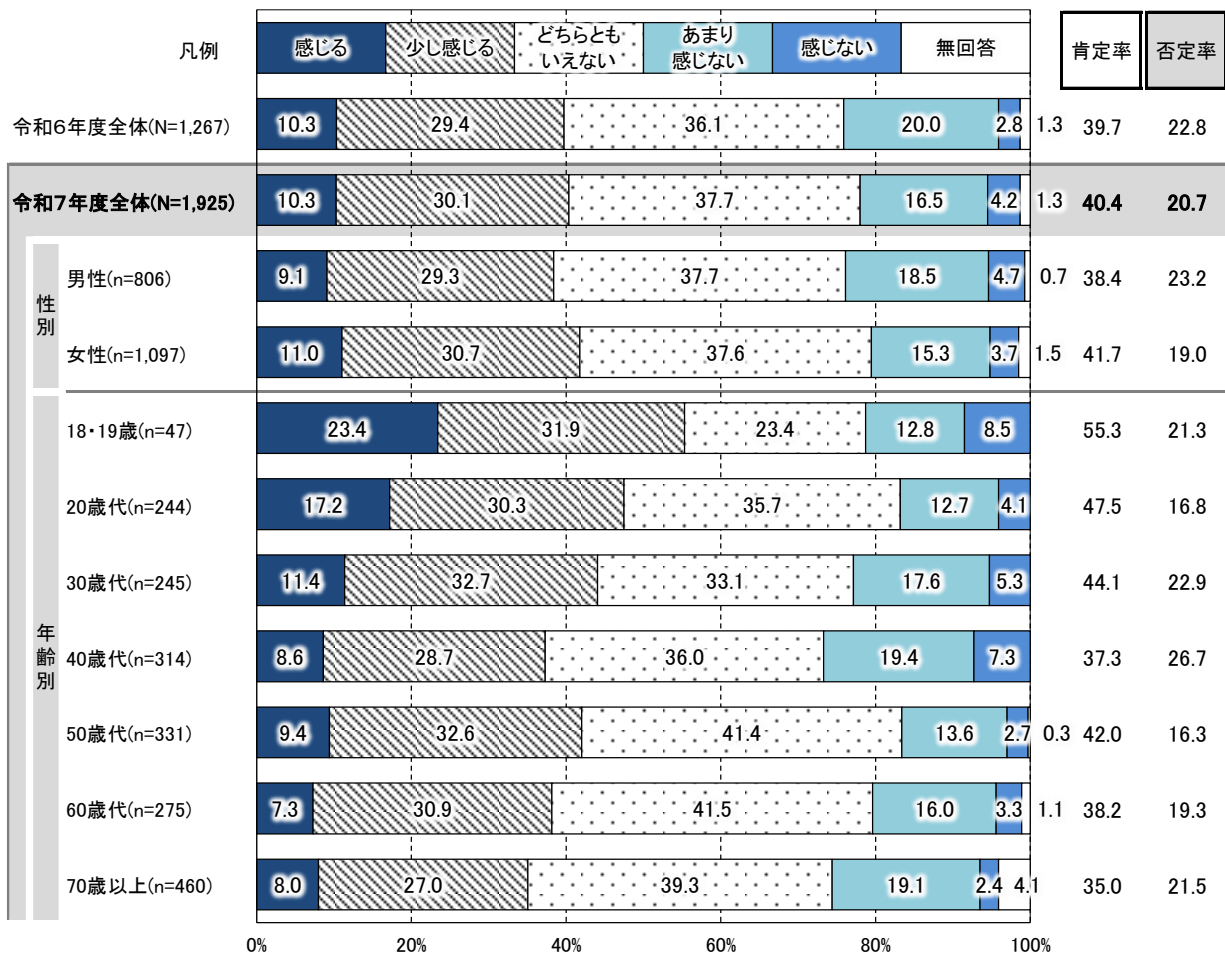
問 5(6) ア 国籍や民族、文化の違いを認め合い、誰もが暮らしやすいまちであると感じますか。

昨年度調査結果と比較すると、全体の肯定率は0.7%上昇、否定率は2.1%減少する結果となりました。年齢別にみると、すべての年代で肯定率は30.0%を超えており、その中でも18・19歳の肯定率が最も高く、55.3%となっています。

国籍や民族、文化の違いを認め合い、誰もが暮らしやすいまちであると感じているか



国籍や民族、文化の違いを認め合い、誰もが暮らしやすいまちであると感じているか(属性別)

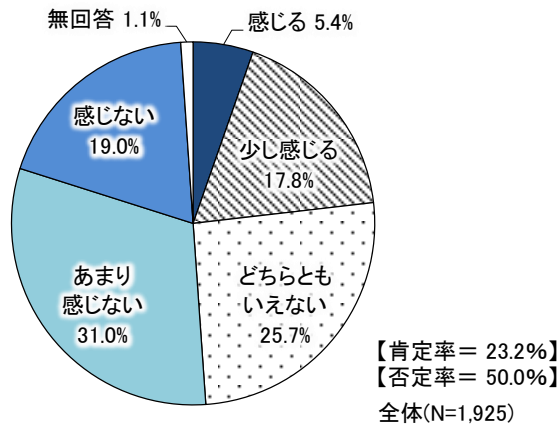


② 国際交流する機会が身近にあると感じているか

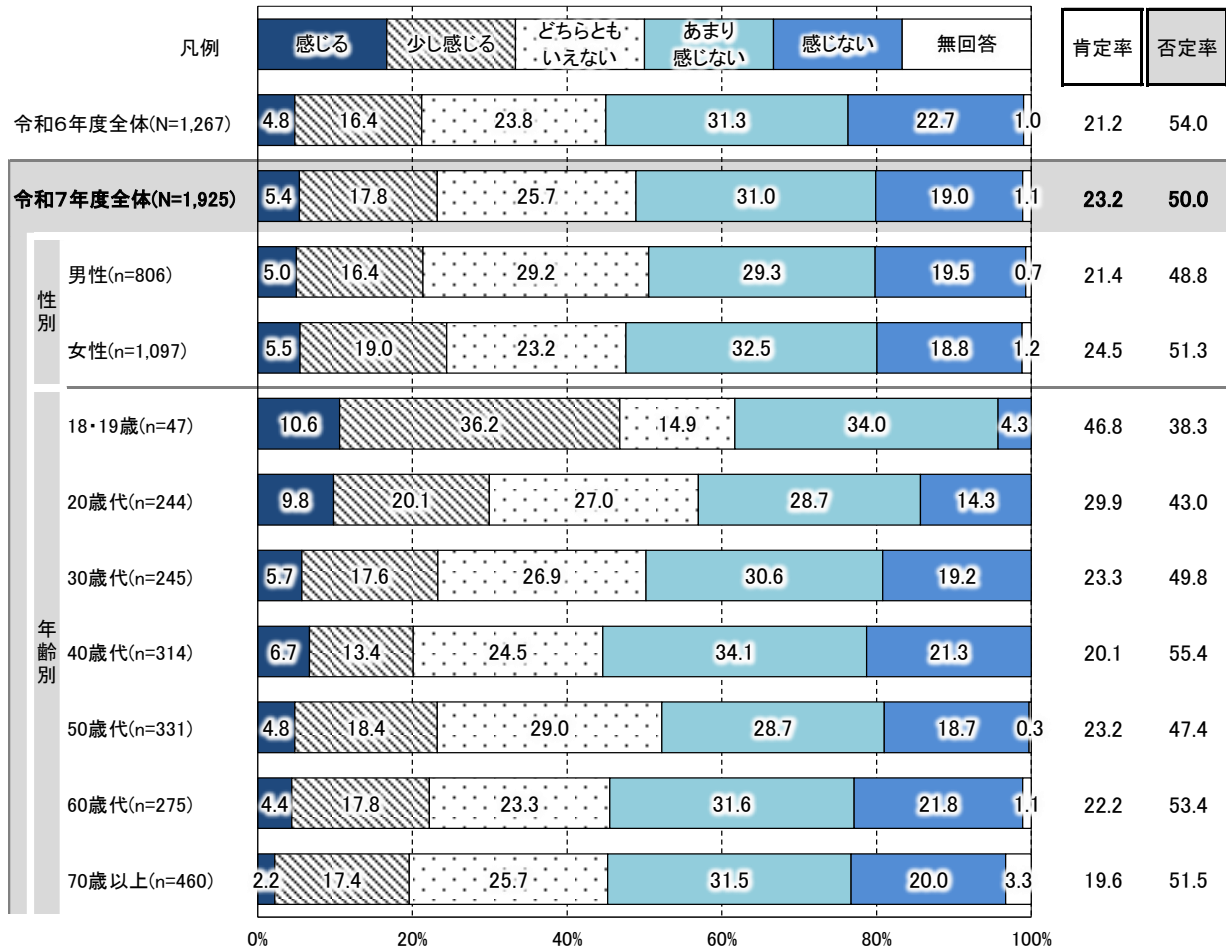
問 5(6)イ 国際交流する機会が身近にあると感じますか。

昨年度調査結果と比較すると、肯定率は2.0%上昇、否定率は4.0%減少しましたが、昨年度同様否定率が50.0%以上となりました。年齢別でみると、18・19歳の肯定率が最も高く、46.8%となっています。

国際交流する機会が身近にあると感じているか



国際交流する機会が身近にあると感じているか(属性別)

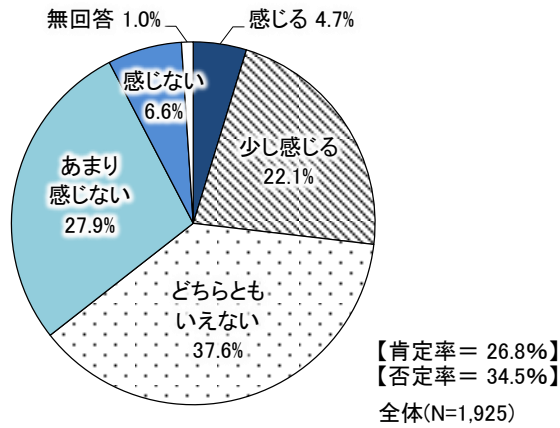


(7) 地域コミュニティについて

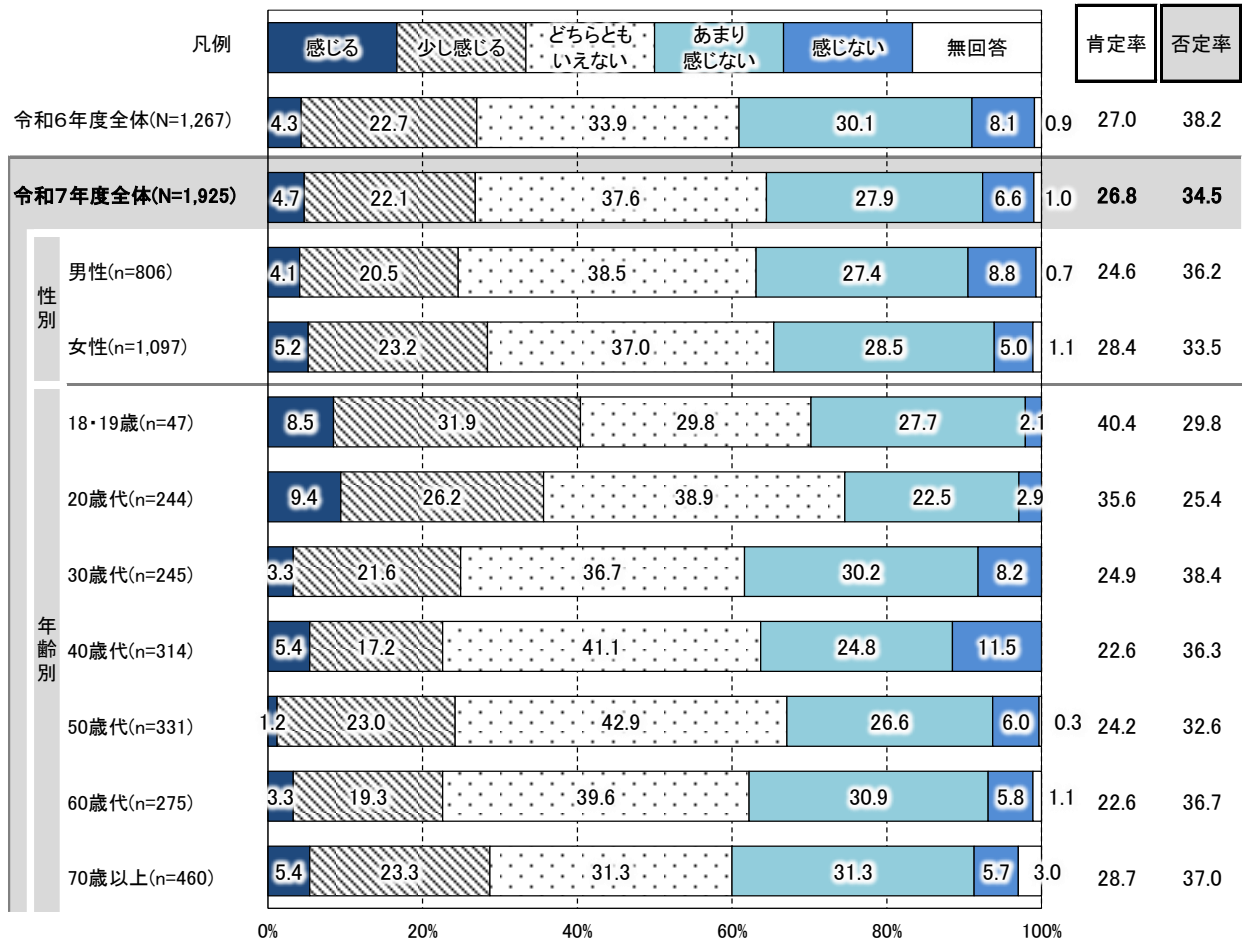
問5(7) 大分市では、市民主体によるまちづくりが行われていると感じますか。

昨年度調査結果と比較すると、全体の肯定率は0.2%減少、否定率も3.7%減少する結果となりました。年齢別にみると、概ね低い年齢の肯定率が高い傾向にあり、その中でも18・19歳の肯定率が最も高く、40.4%となっています。

大分市では市民主体によるまちづくりが行われていると感じているか



大分市では市民主体によるまちづくりが行われていると感じているか(属性別)



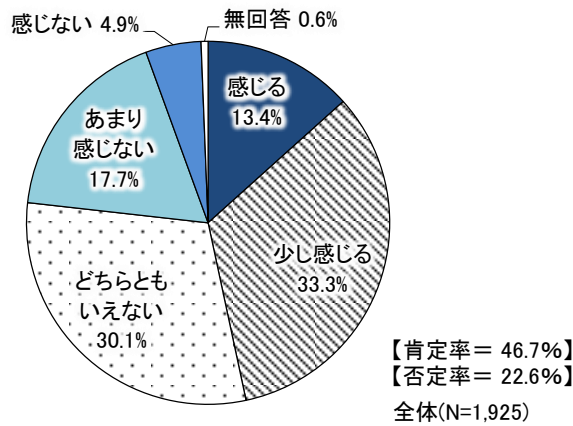
(8) 高齢者福祉・介護保険について

① 必要な医療・介護・介護予防などのサービスが提供されていると感じているか

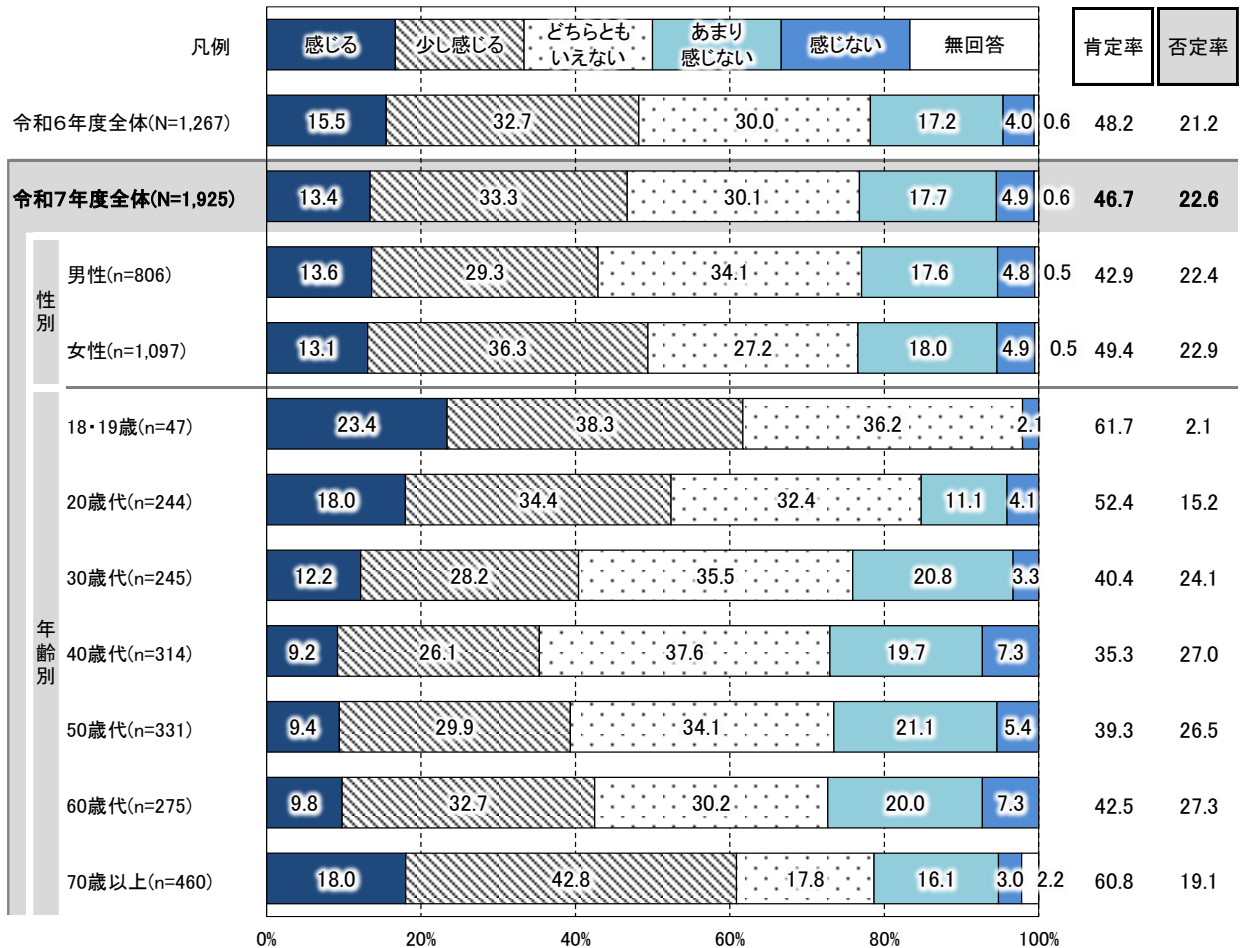
問 5(8) ア あなた自身もしくはあなたの身近な高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるために、必要な医療・介護・介護予防などのサービスが提供されていると感じますか。

昨年度調査結果と比較すると、全体の肯定率は1.5%減少、否定率は1.4%上昇する結果となりました。年齢別にみると、すべての年代で肯定率は30.0%を超えており、その中でも18・19歳の肯定率が最も高く、61.7%となっています。

必要な医療・介護・介護予防などのサービスが提供されていると感じているか(全体)



必要な医療・介護・介護予防などのサービスが提供されていると感じているか(属性別)

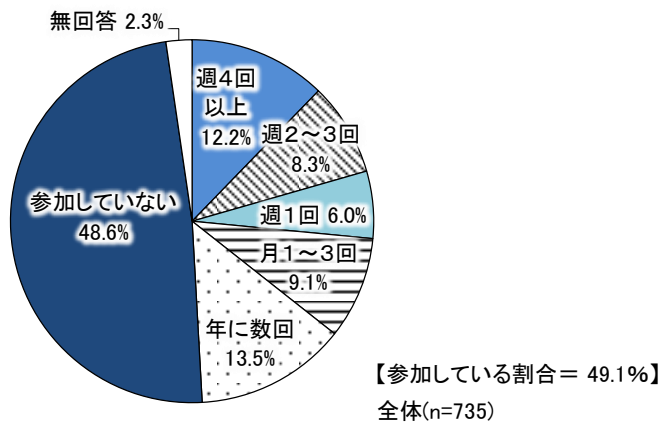


② 人との交流の場への参加頻度

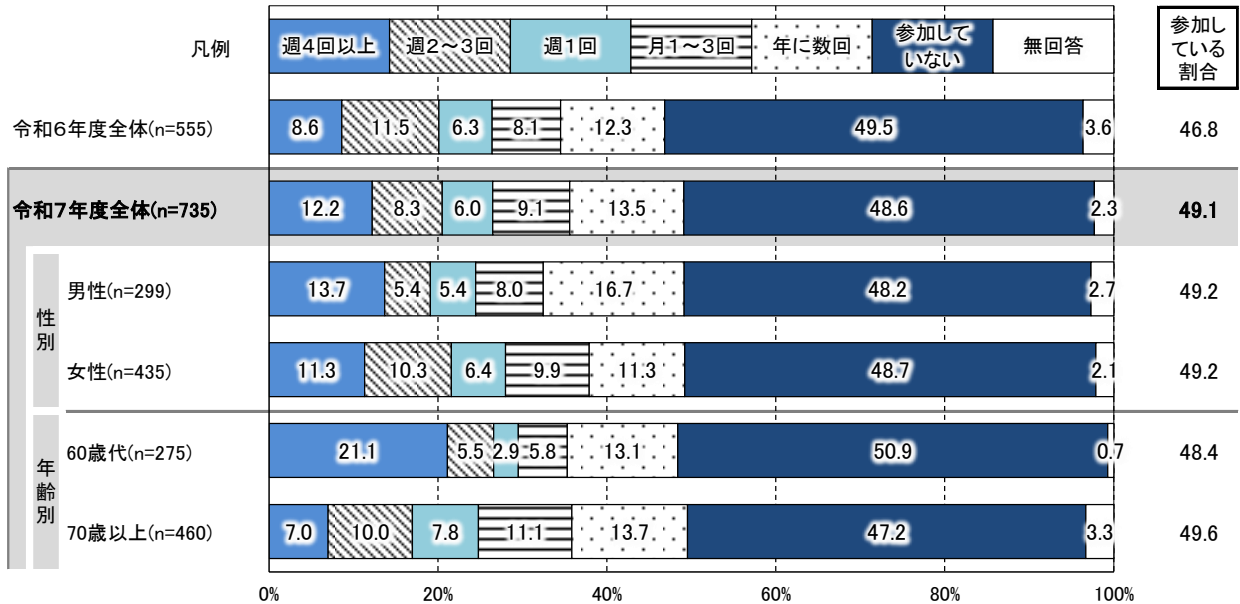
※60歳代以上の方にお尋ねします。
 問5(8)イ 地域ふれあいサロン、健康づくり運動教室、老人クラブ、趣味やボランティアのグループ、自治会、仕事(勤め先)など、人との交流の場にどれくらいの頻度で参加していますか。

昨年度調査結果と比較すると、人との交流の場へ参加している人の割合は2.3%上昇し、その中でも週1回以上参加している人の割合は0.1%上昇する結果となりました。

人との交流の場への参加頻度



人との交流の場への参加頻度(属性別)

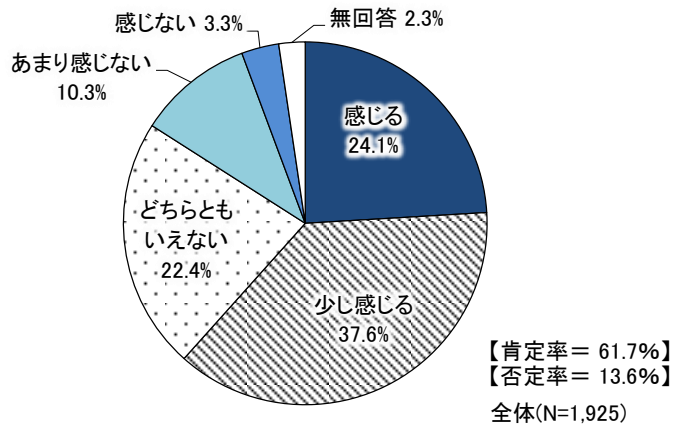


(9) 地域医療体制について

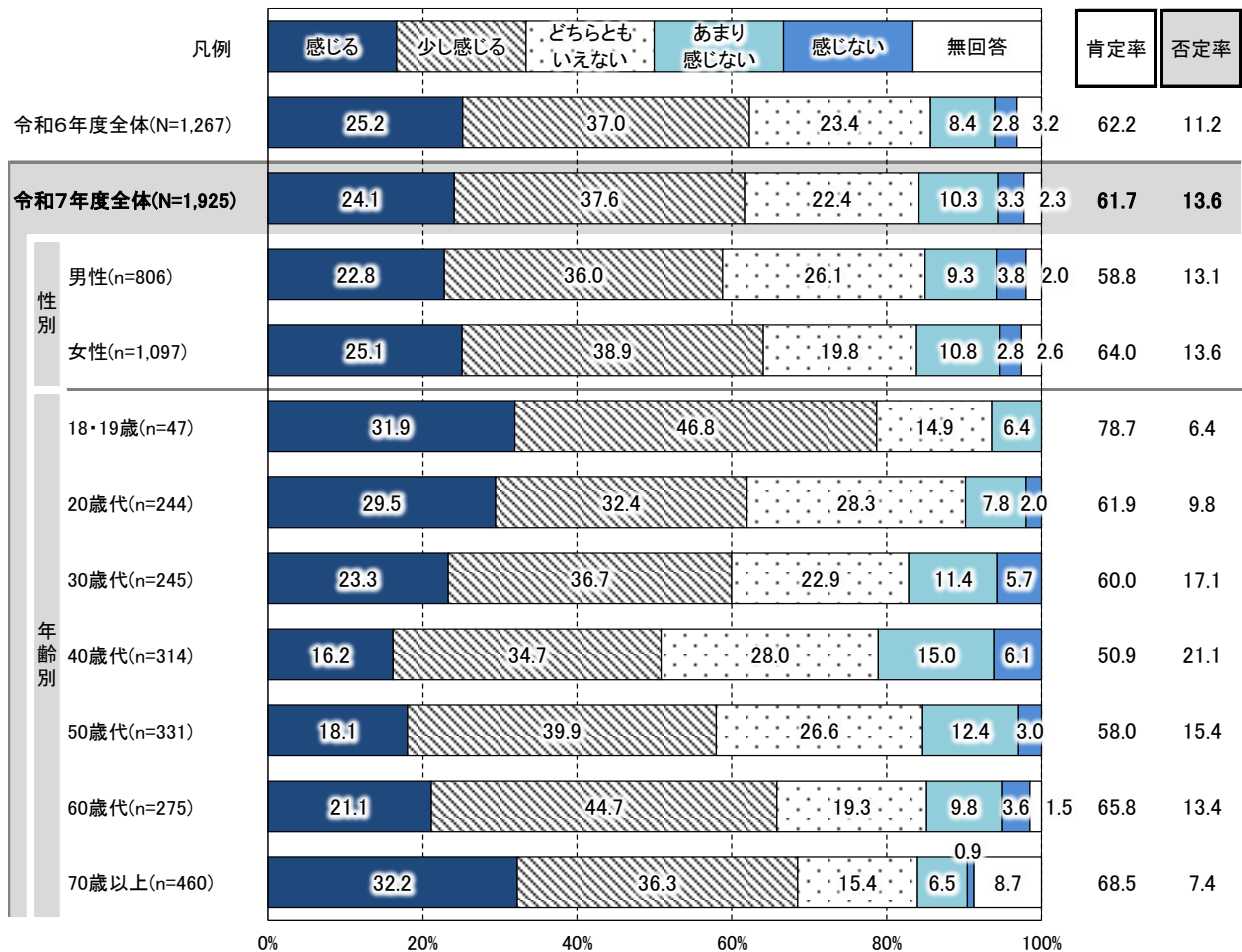
問5(9) あなたは、大分市で安心して必要な医療が受けられると感じますか。

昨年度調査結果と比較すると、全体の肯定率は0.5%減少、否定率は2.4%上昇する結果となりました。年齢別にみると、すべての年代で肯定率は50.0%を超えており、その中でも18・19歳の肯定率が最も高く、78.7%となっています。

大分市で安心して必要な医療が受けられると感じているか



大分市で安心して必要な医療が受けられると感じているか(属性別)



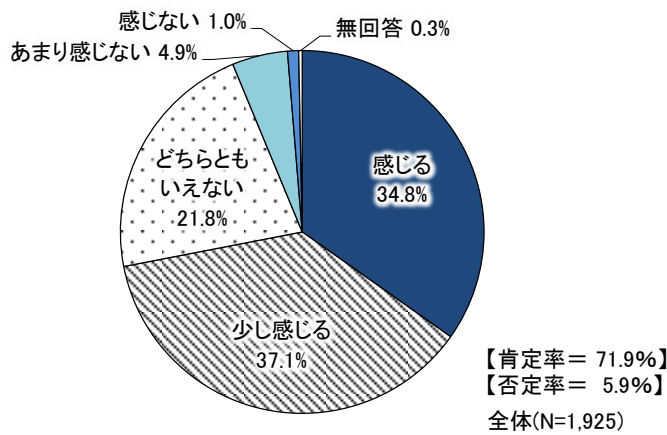
(10) 生活環境について

① 施設が清潔に保たれており、安心して利用できると感じているか

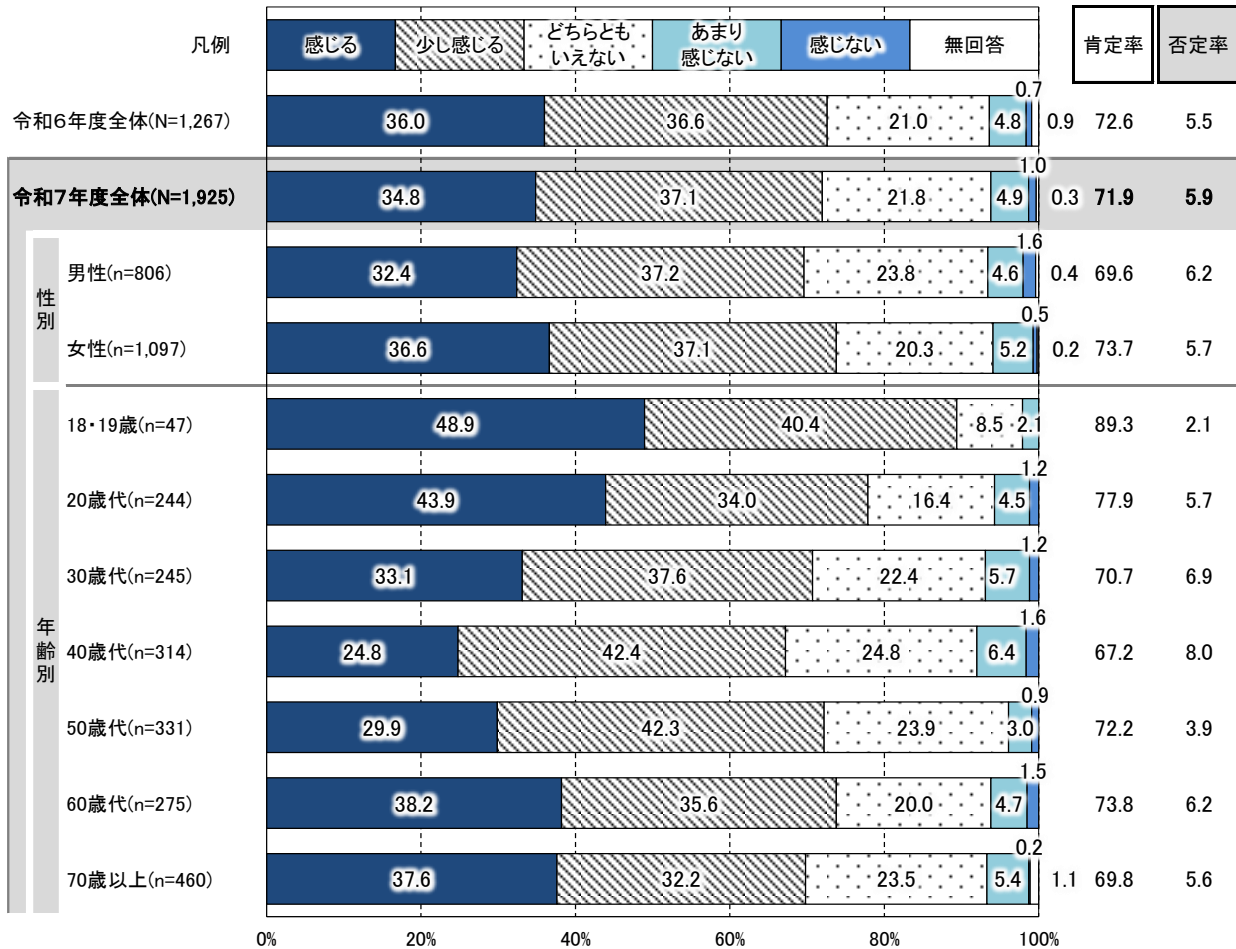
問 5(10)ア 飲食店や理美容所、公衆浴場などの施設が清潔に保たれており、安心して利用することができますか。

昨年度調査結果と比較すると、全体の肯定率は0.7%減少、否定率は0.4%上昇する結果となりました。年齢別にみると、すべての年代で肯定率は60.0%を超えており、その中でも18・19歳の肯定率が最も高く、89.3%となっています。

施設が清潔に保たれており、安心して利用できると感じているか



施設が清潔に保たれており、安心して利用できると感じているか(属性別)

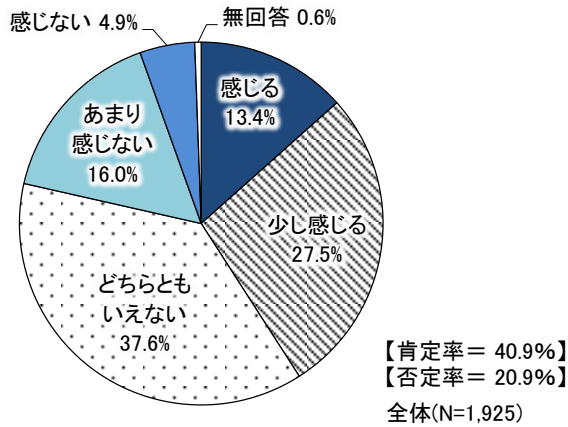


② 人と動物が共生する社会が実現していると感じているか

問 5(10) イ 人と動物が共生する社会が実現していると感じますか。

昨年度調査結果と比較すると、全体の肯定率は1.2%減少、否定率は1.1%上昇する結果となりました。年齢別にみると、すべての年代で肯定率は30.0%を超えており、その中でも18・19歳の肯定率が最も高く、59.6%となっています。

人と動物が共生する社会が実現していると感じているか



人と動物が共生する社会が実現していると感じているか(属性別)

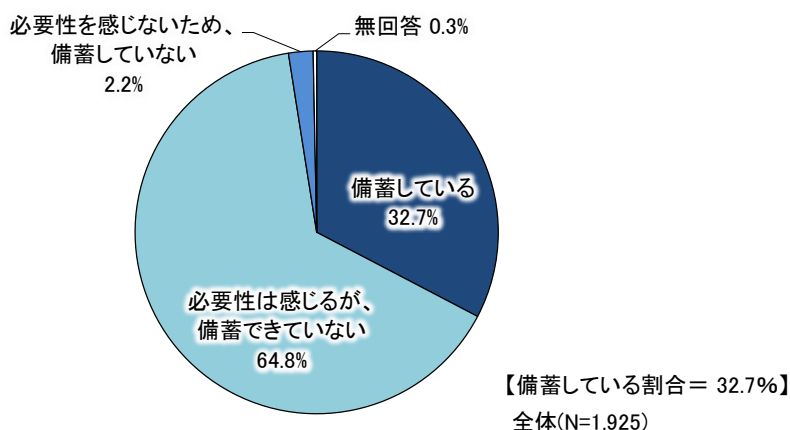
属性	割合 (%)						肯定率	否定率
	感じる	少し感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	無回答		
令和6年度全体(N=1,267)	12.2	29.9	36.8	16.0	3.8	1.3	42.1	19.8
令和7年度全体(N=1,925)	13.4	27.5	37.6	16.0	4.9	0.6	40.9	20.9
性別								
男性(n=806)	12.9	24.8	39.0	16.1	6.3	0.9	37.7	22.4
女性(n=1,097)	13.6	29.4	36.6	16.0	3.9	0.4	43.0	19.9
年齢別								
18・19歳(n=47)	29.8	29.8	29.8	8.5	2.1	59.6	10.6	
20歳代(n=244)	21.7	29.1	32.4	13.5	3.3	50.8	16.8	
30歳代(n=245)	12.7	28.2	33.9	17.6	7.8	40.9	25.4	
40歳代(n=314)	10.5	24.5	40.8	16.9	7.3	35.0	24.2	
50歳代(n=331)	10.0	29.3	43.2	13.3	4.2	39.3	17.5	
60歳代(n=275)	10.9	27.3	39.6	17.5	4.4	0.4	38.2	21.9
70歳以上(n=460)	13.3	26.5	36.3	18.0	3.7	2.2	39.8	21.7

(11) 防災・減災・危機管理体制について

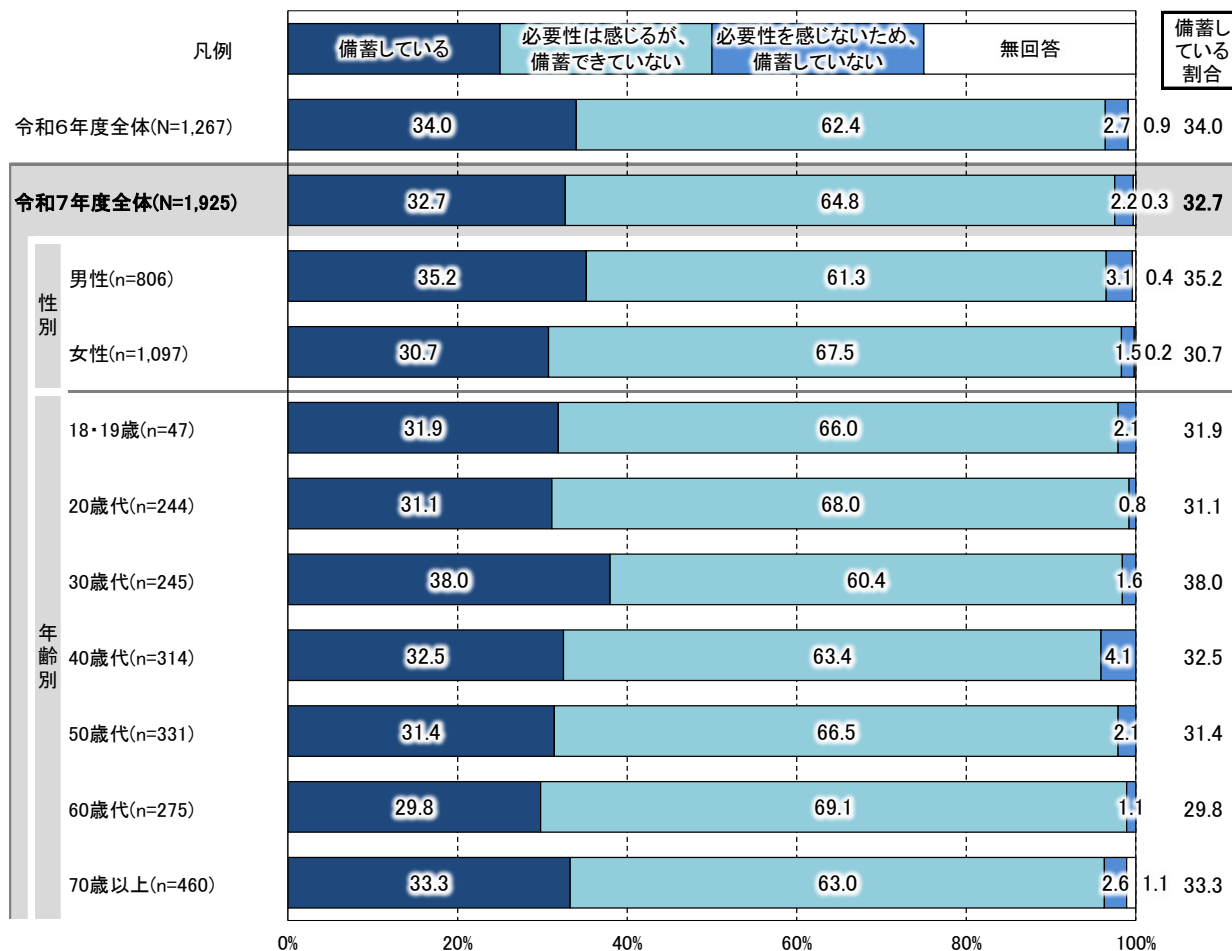
問5(11) 災害に備えて3日以上の家庭内備蓄をしていますか。

昨年度調査結果と比較すると、3日以上の家庭内備蓄をしていると回答した人の割合は、1.3%減少する結果となりました。年齢別でみると、ほとんどの年代で30.0%以上の方が3日以上の家庭内備蓄をしており、その中でも30歳代の割合が最も高く38.0%となっています。

3日以上の家庭内備蓄の有無



3日以上の家庭内備蓄の有無(属性別)

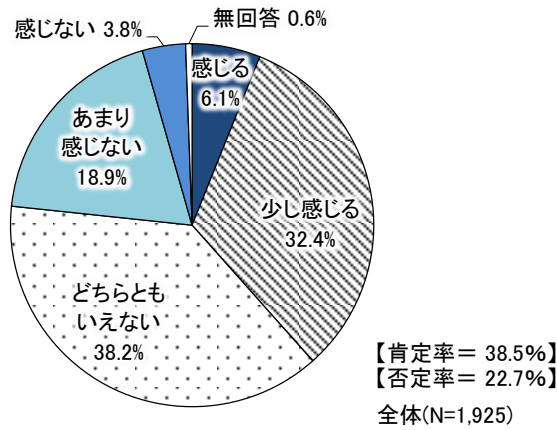


(12) 流域全体の関係者で行う災害対策等について

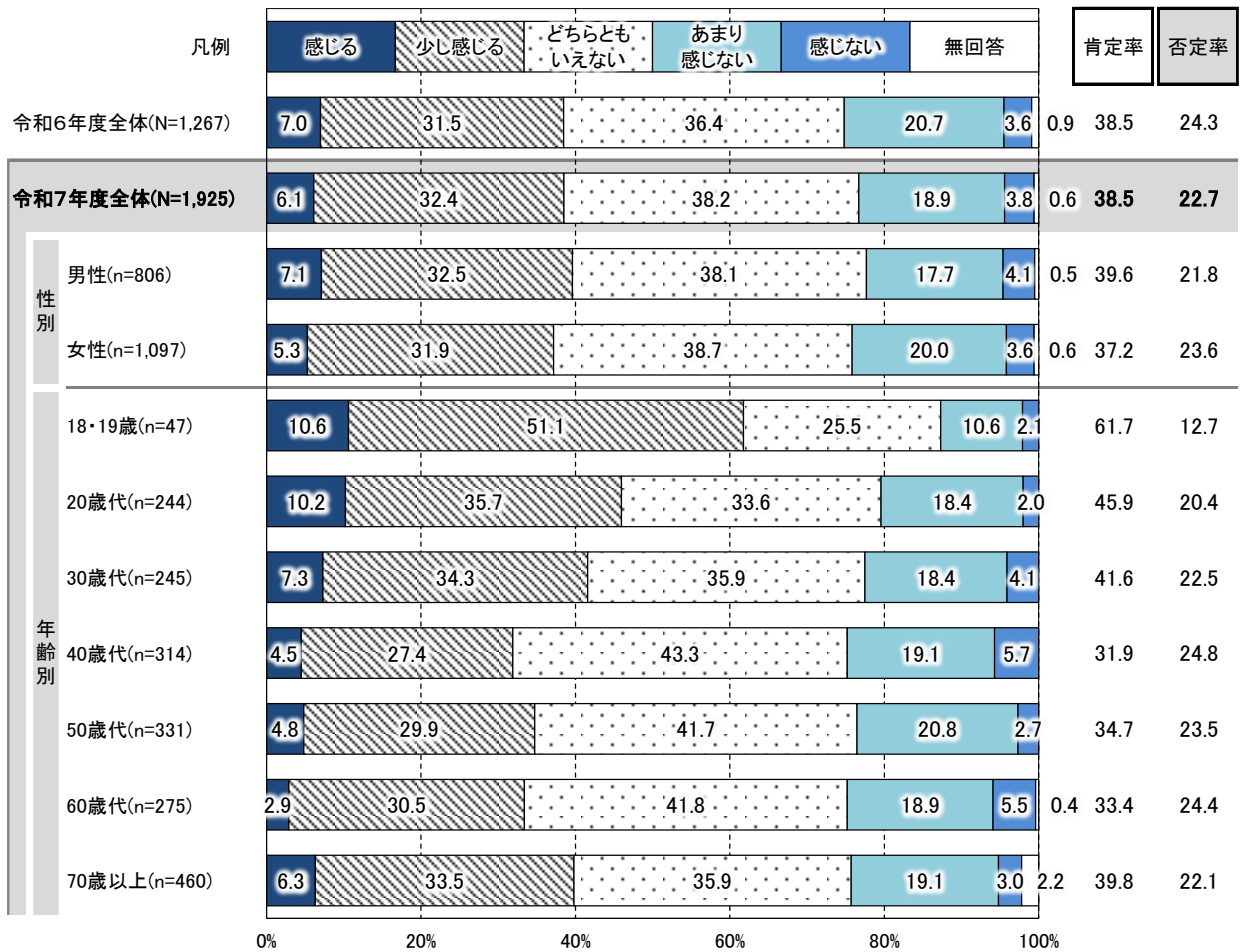
問5(12) 災害対策の取組がすすみ、安心なまちづくりが実現したと感じますか。

昨年度調査結果と比較すると、全体の肯定率は変わらず、否定率は1.6%減少する結果となりました。年齢別にみると、すべての年代で肯定率は30.0%を超えており、その中でも18・19歳の肯定率が最も高く、61.7%となっています。

災害対策の取組がすすみ、安心なまちづくりが実現したと感じているか



災害対策の取組がすすみ、安心なまちづくりが実現したと感じているか(属性別)

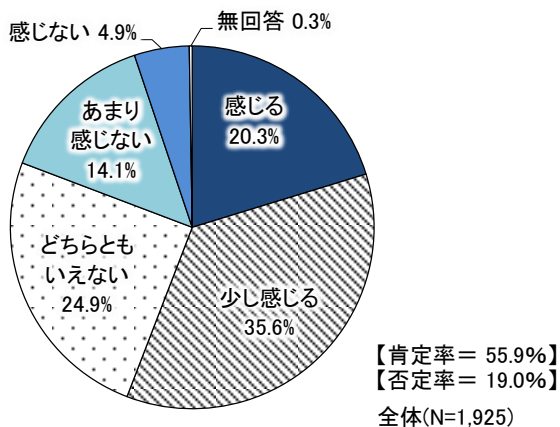


(13) 行政窓口・行政手続について

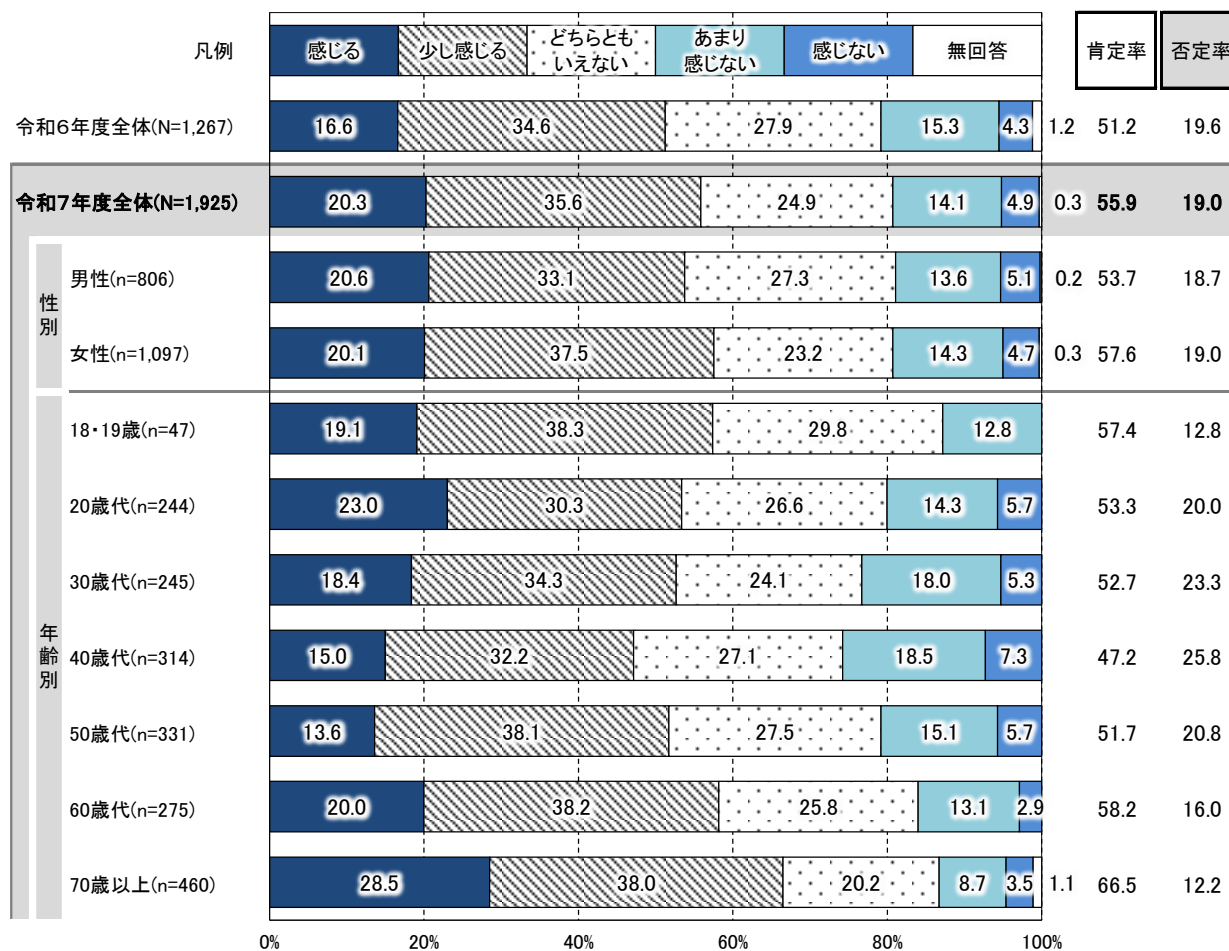
問5(13) 各種行政窓口・行政手続を利用しやすいと感じますか。

昨年度調査結果と比較すると、全体の肯定率は4.7%上昇、否定率は0.6%減少する結果となりました。年齢別にみると、ほとんどの年代で肯定率は50.0%を超えており、その中でも70歳以上の肯定率が最も高く、66.5%となっています。

各種行政窓口・行政手続を利用しやすいと感じているか



各種行政窓口・行政手続を利用しやすいと感じているか(属性別)

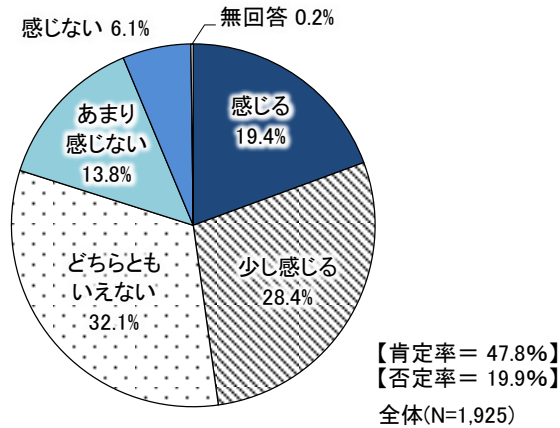


(14) 公害の未然防止と環境保全について

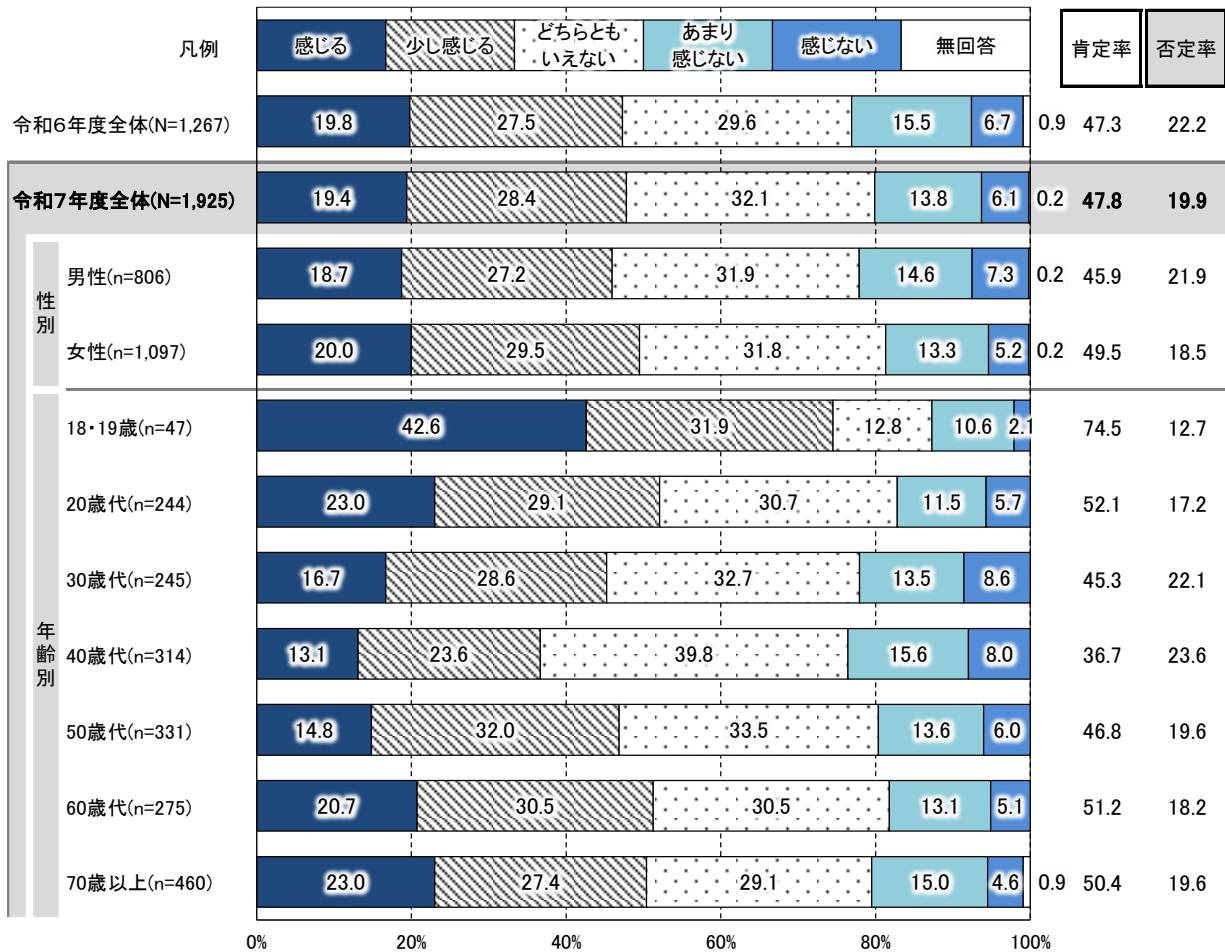
問5(14) 公害等で困ることなく生活ができる環境であると感じますか。

昨年度調査結果と比較すると、全体の肯定率は0.5%上昇、否定率は2.3%減少する結果となりました。年齢別にみると、ほとんどの年代で肯定率は40.0%を超えており、その中でも18・19歳の肯定率が最も高く、74.5%となっています。

公害等で困ることなく生活することができる環境であると感じているか



公害等で困ることなく生活することができる環境であると感じているか(属性別)

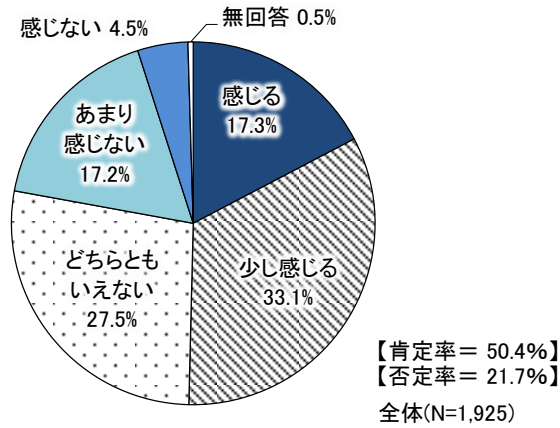


(15) 豊かな自然について

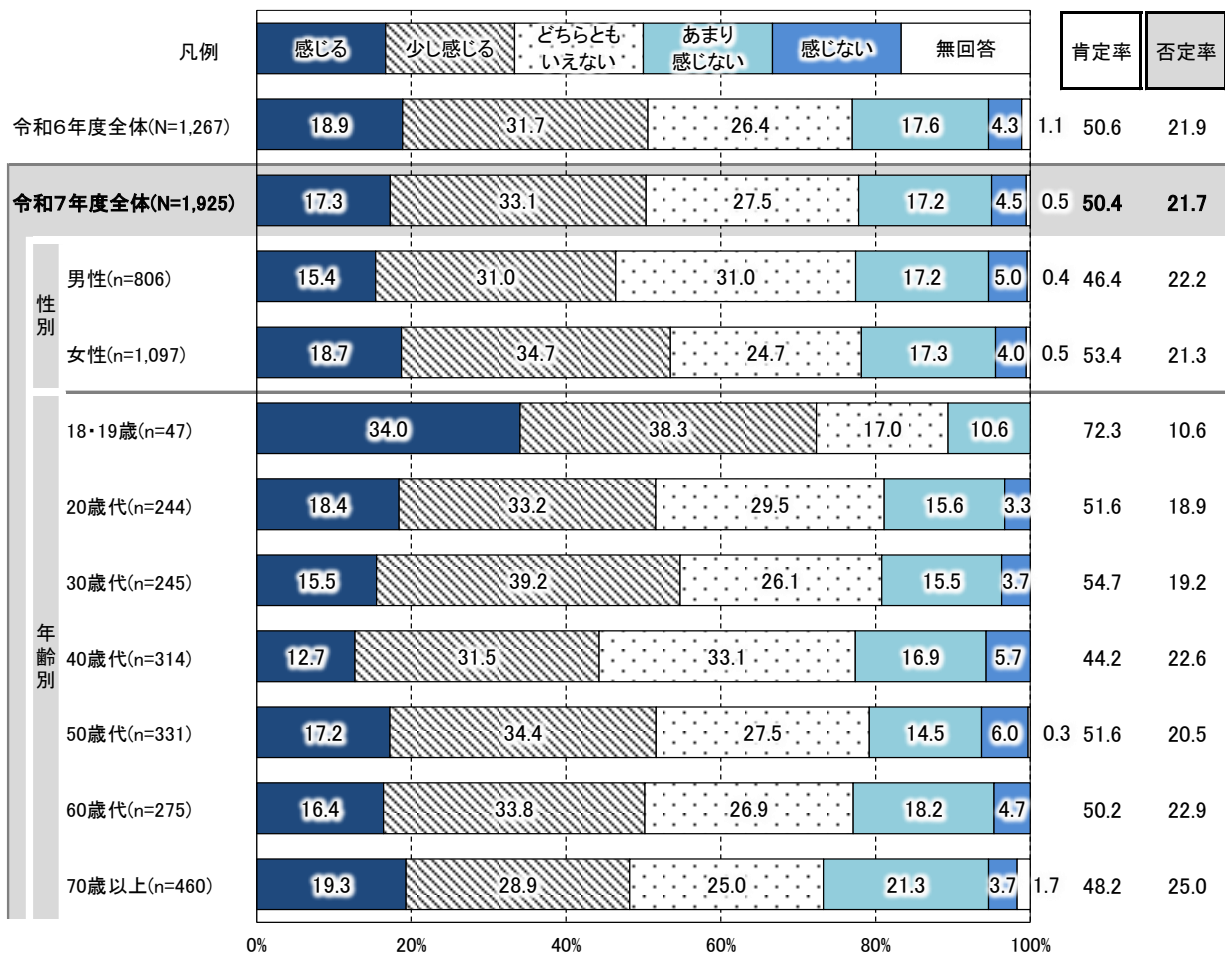
問5(15) 身近なところに、自然に触れあえる場所や環境教育に触れる機会があると感じますか。

昨年度調査結果と比較すると、全体の肯定率は0.2%減少、否定率も0.2%減少する結果となりました。年齢別にみると、ほとんどの年代で肯定率は50.0%を超えており、その中でも18・19歳の肯定率が最も高く、72.3%となっています。

身近なところに、自然に触れあえる場所や環境教育等に触れる機会があると感じているか



身近なところに、自然に触れあえる場所や環境教育等に触れる機会があると感じているか(属性別)

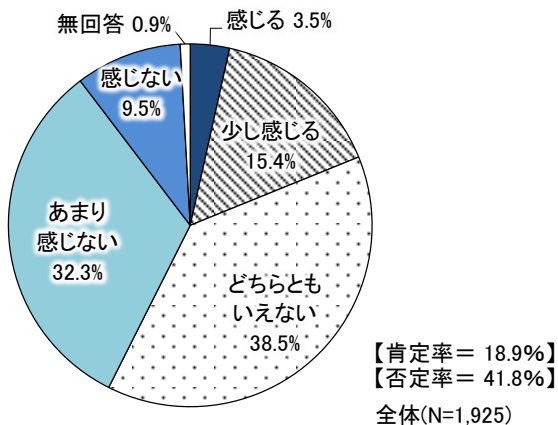


(16) 商工業・サービス業について

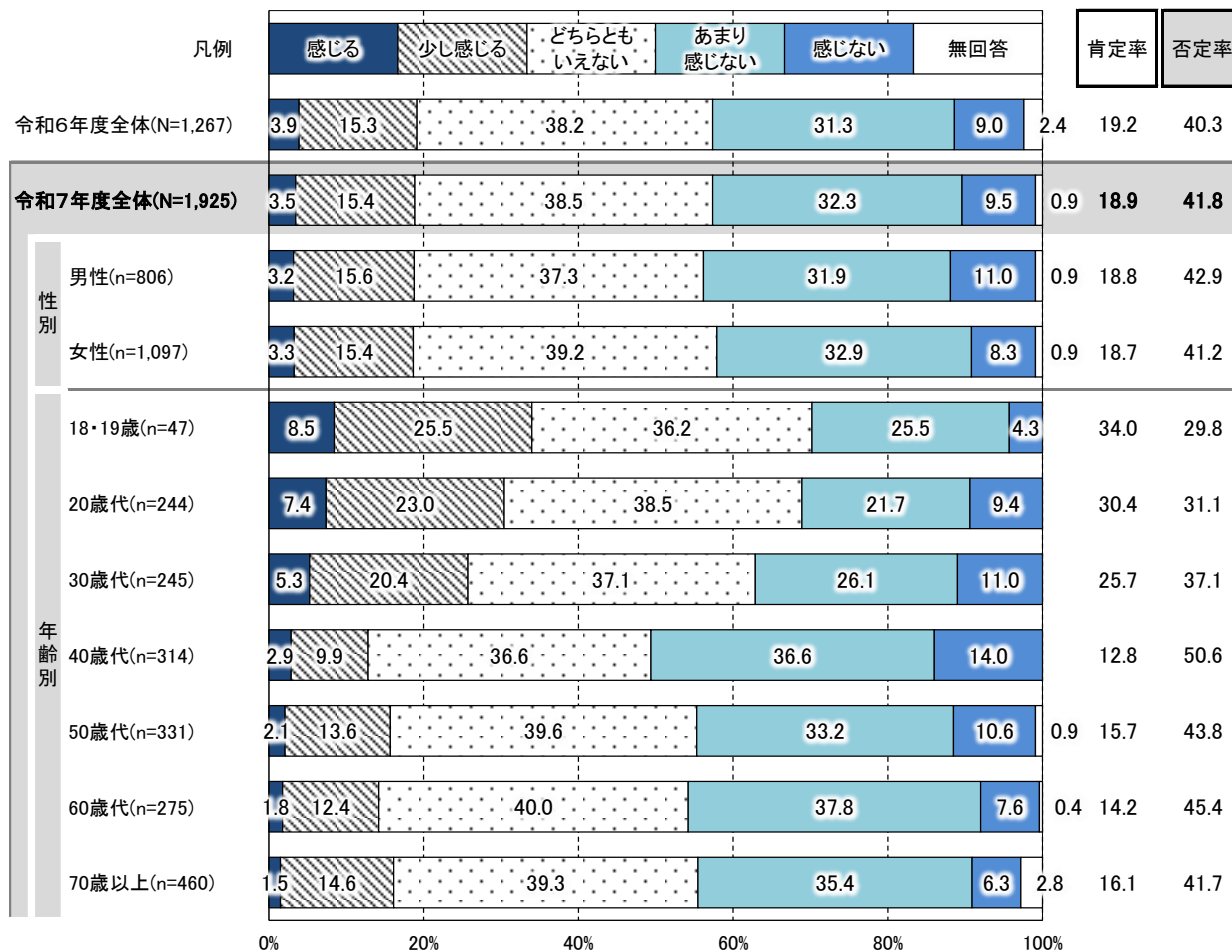
問5(16) 地域経済の活性化や雇用創出の場が増加したと感じますか。

昨年度調査結果と比較すると、全体の肯定率は0.3%減少、否定率は1.5%上昇する結果となりました。年齢別にみると、低い年齢で肯定率が高い傾向にあり、その中でも18・19歳の肯定率が最も高く、34.0%となっています。

地域経済の活性化や雇用創出の場が増加したと感じているか



地域経済の活性化や雇用創出の場が増加したと感じているか(属性別)



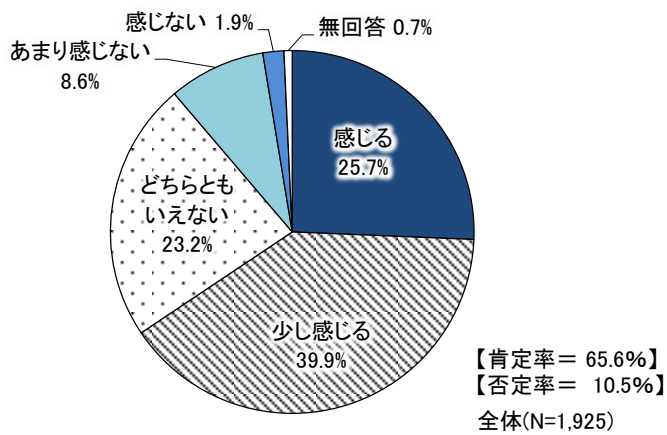
(17) 流通拠点について

① 生鮮食料品等を購入する際、安全・安心で品質の高い品が流通していると感じているか

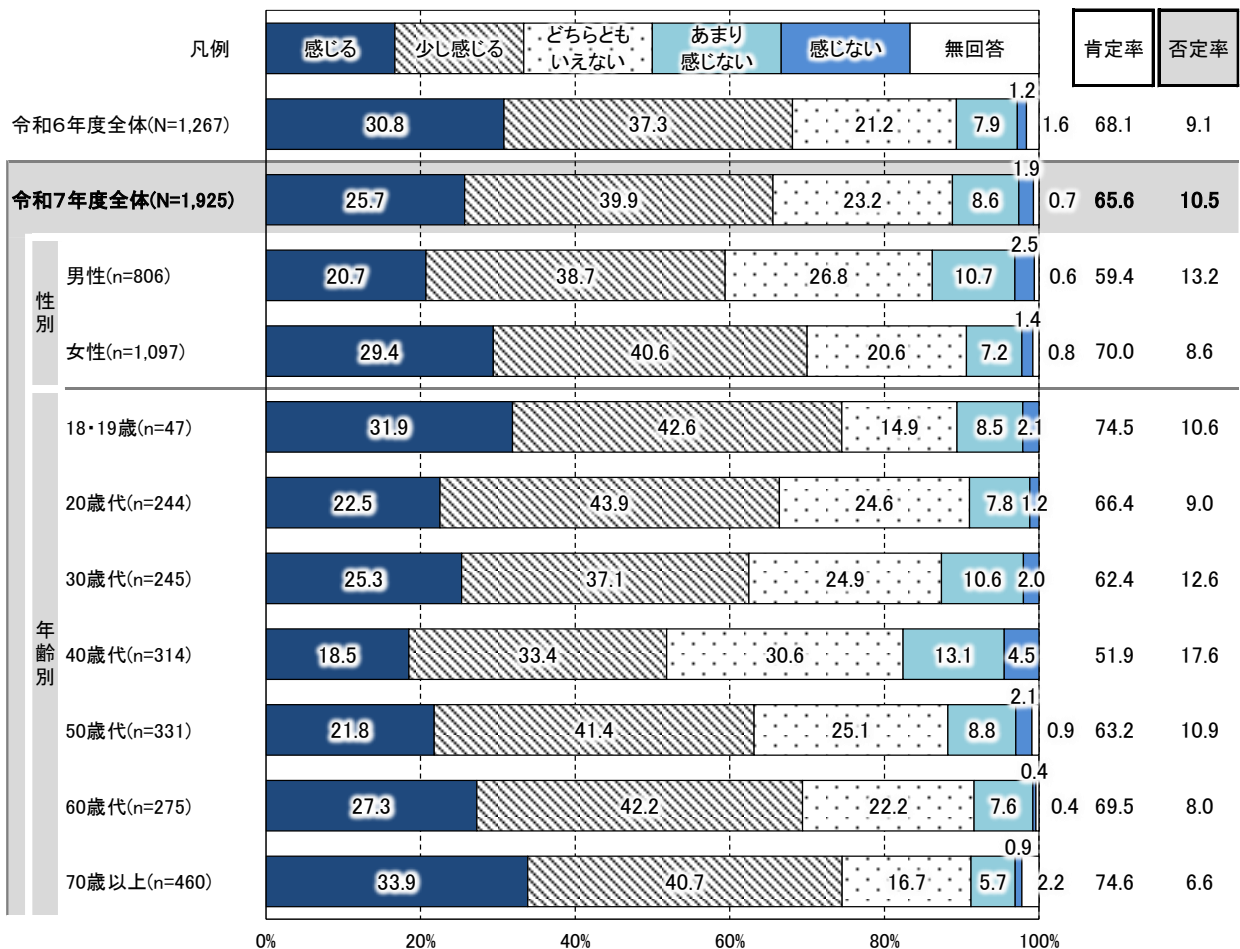
問 5(17)ア 日頃、生鮮食料品等を購入する際、安全・安心で品質の高い品が流通していると感じますか。

昨年度調査結果と比較すると、全体の肯定率は2.5%減少、否定率は1.4%上昇する結果となりました。年齢別にみると、ほとんどの年代で肯定率は60.0%を超えており、その中でも70歳以上の肯定率が最も高く、74.6%となっています。

生鮮食料品等を購入する際、安全・安心で品質の高い品が流通していると感じているか



生鮮食料品等を購入する際、安全・安心で品質の高い品が流通していると感じているか(属性別)

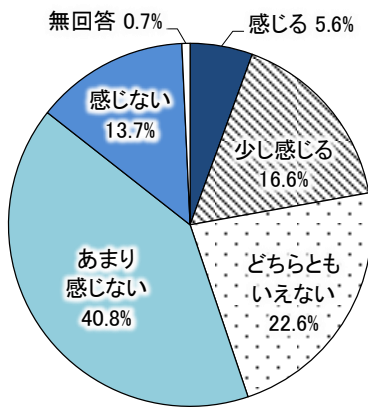


② 物流が滞っていると感じているか

問 5(17)イ 宅配等での荷物の遅延や、販売店等で生鮮食料品等の不足を感じるなど、物流が滞っていると感じますか。

昨年度調査結果と比較すると、全体の肯定率は1.4%上昇、否定率は1.6%減少する結果となりました。年齢別にみると、ほとんどの年代で否定率は50.0%を超えており、その中でも60歳代の否定率が最も高く、64.8%となっています。

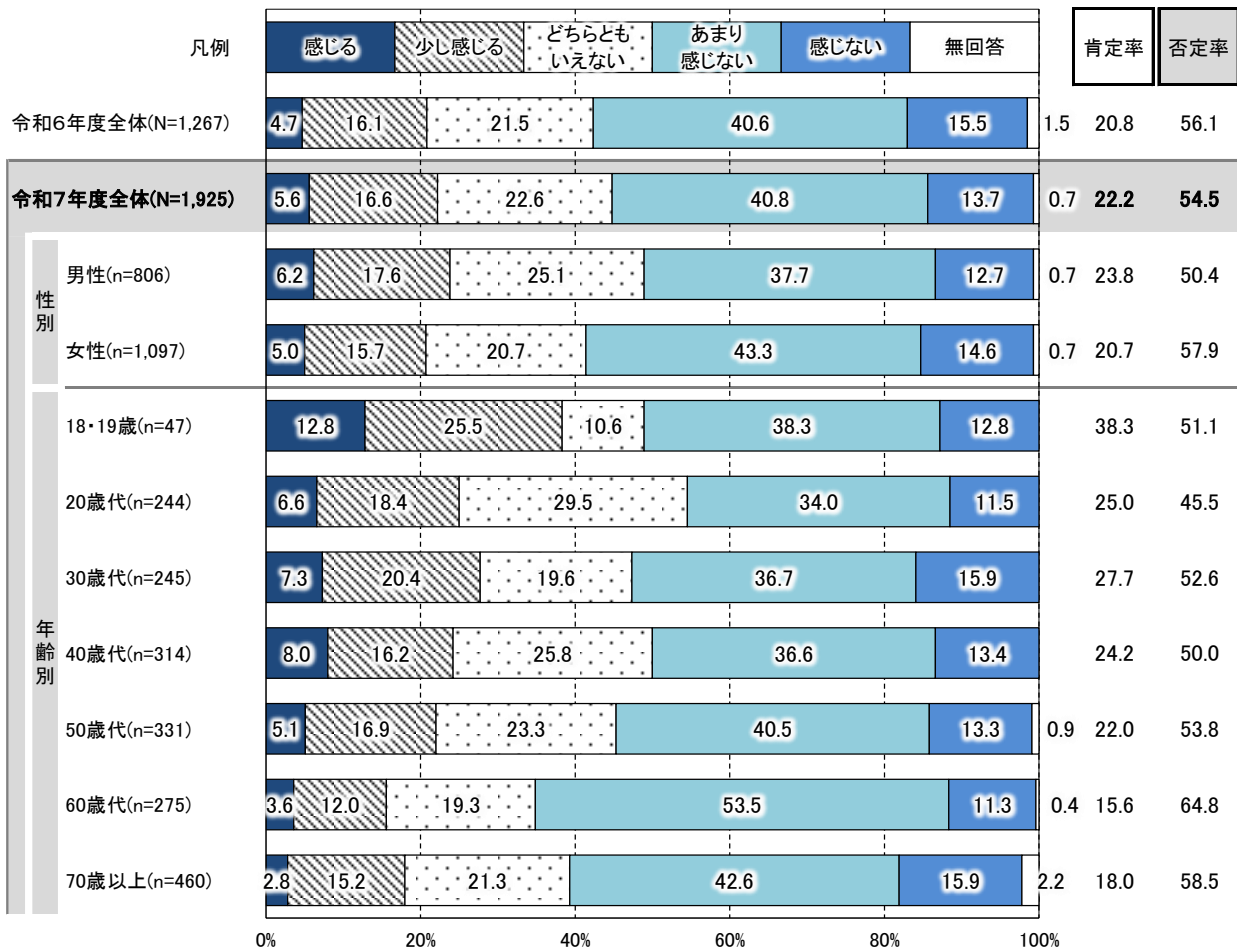
物流が滞っていると感じているか



※ここでいう否定率は、数値が高いほど物流が滞っていないと感じていることを示します。

【肯定率= 22.2%】
【否定率= 54.5%】
全体(N=1,925)

物流が滞っていると感じているか(属性別)

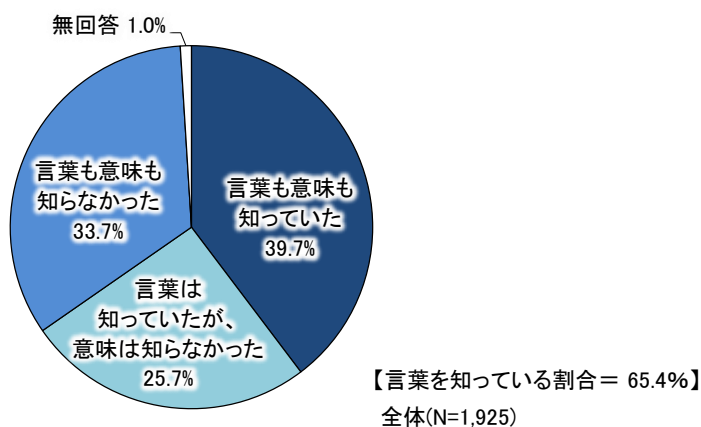


(18) 計画的な市街地の形成について

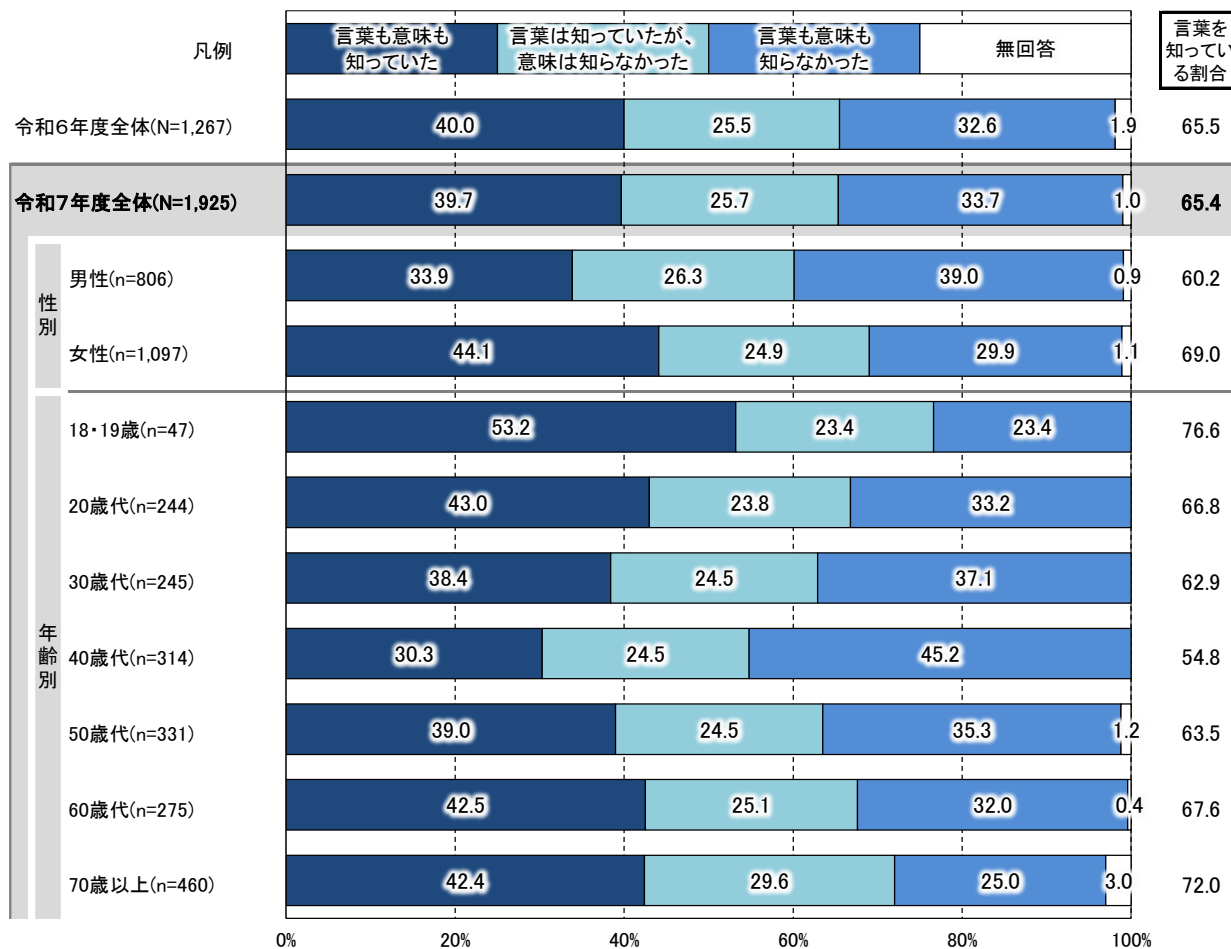
問5(18) 「心のバリアフリー」という言葉の認知度についてお答えください。

昨年度調査結果と比較すると、「心のバリアフリー」という言葉を知っている割合は 0.1%減少する結果となりました。年齢別にみると、ほとんどの年代で「心のバリアフリー」という言葉を知っている割合は 60.0%を超えています。

「心のバリアフリー」という言葉の認知度



「心のバリアフリー」という言葉の認知度(属性別)

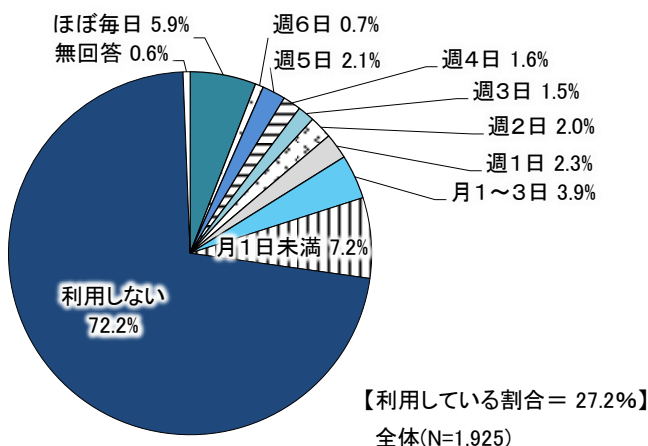


(19) 自転車の活用について

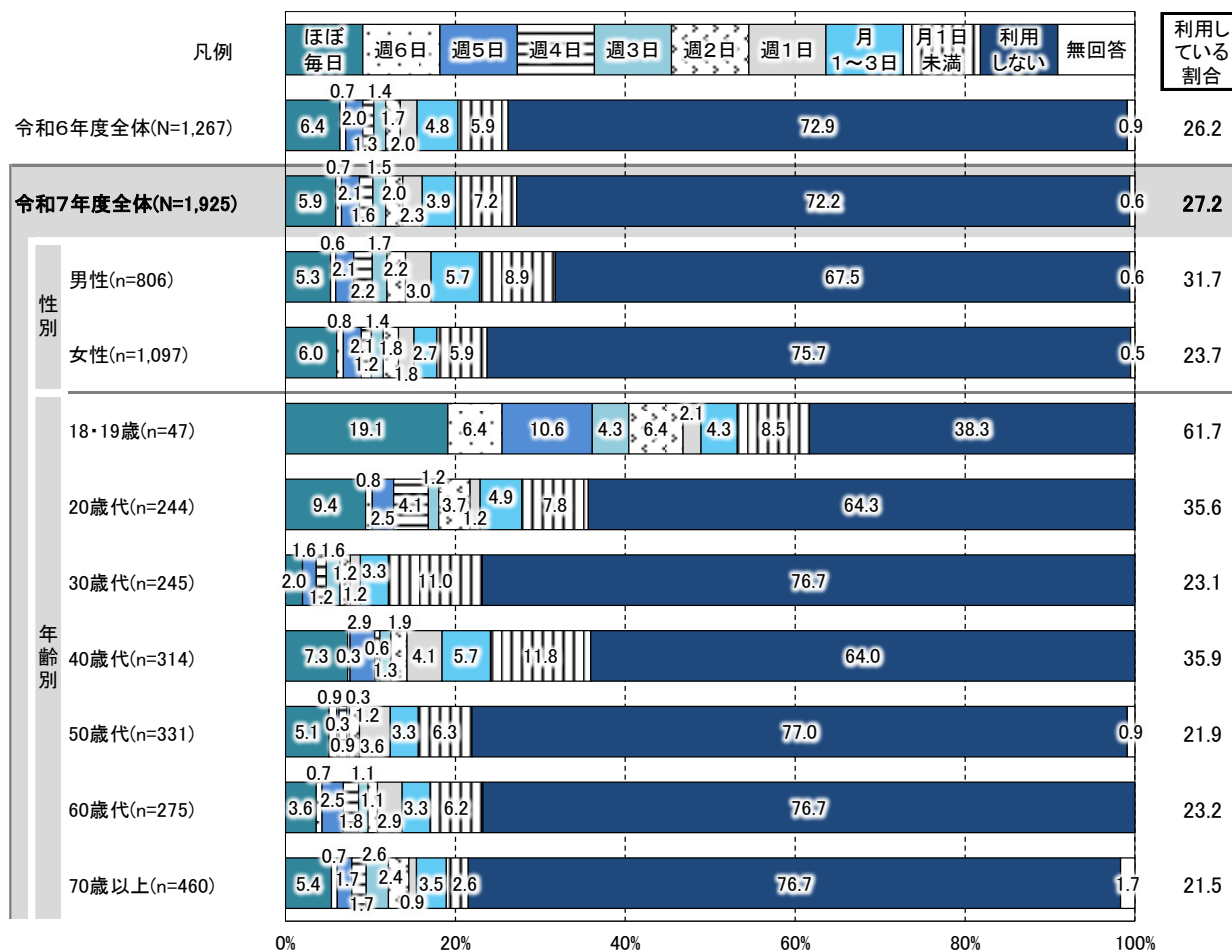
問 5(19) どのくらいの頻度で、自転車を利用しますか。

昨年度調査結果と比較すると、利用している割合は 1.0%上昇、自転車を利用しない割合は 0.7%減少する結果となりました。利用頻度については、月 1 日未満と回答した人の割合が最も高く、ほぼ毎日がその次に高いという結果となりました。

自転車の利用頻度



自転車の利用頻度(属性別)

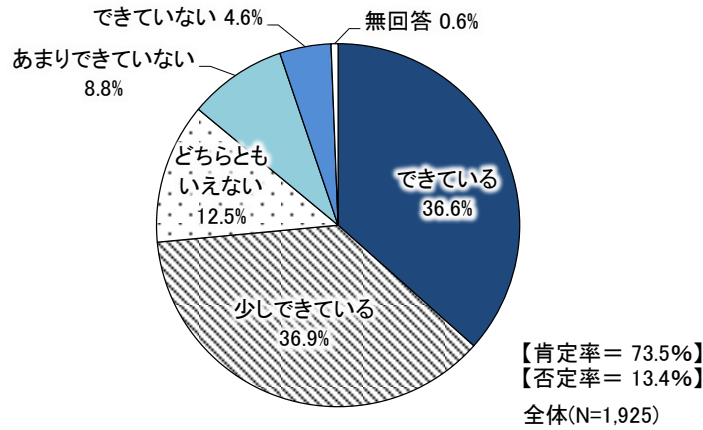


(20) 公園・緑地の保全と活用について

問5(20) 身近なところで、緑を感じたり、親しむ事ができていますか。

昨年度調査結果と比較すると、全体の肯定率は昨年度より微減したものの、依然としてなおほとんどの年代で70%を超える高い水準となっています。中でも18・19歳の肯定率は80.8%と全世代で最も高くなっています。

身近なところで、緑を感じたり、親しむ事ができているか



身近なところで、緑を感じたり、親しむ事ができているか(属性別)

